

すずしろ

No.78
2023



公益社団法人
練馬区歯科医師会会誌



「秋の御嶽山」

浅見 律 撮影

令和4年度 歯ートファミリーコンクール

2022年5月18日（水） つつじ歯科診療所



学術講演会

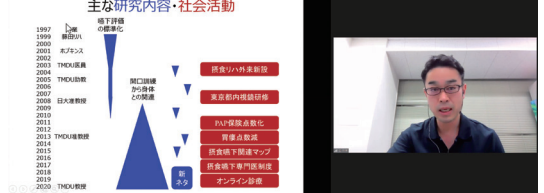
2022年5月20日（金）

第一回摂食・嚥下リハビリテーション外来協力医向け研修会

2022年5月31日（火）



西山 暁先生



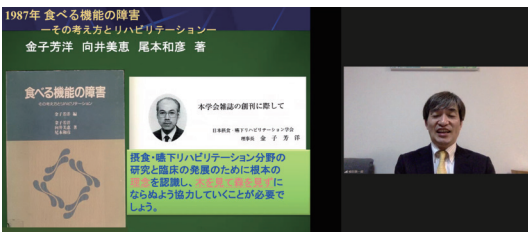
戸原 玄先生

第二回摂食・嚥下リハビリテーション外来協力医向け研修会

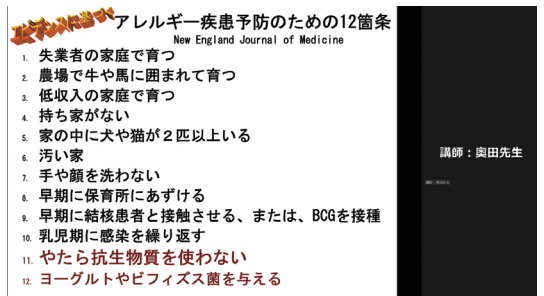
2022年6月29日（水）

地域医療講演会

2022年9月15日（木）



植田耕一郎先生



奥田克爾先生

口腔がん早期発見を目的とした啓発事業研修会
2022年11月17日（木）

学術講演会
2022年12月14日（水）

口腔がんとたばこ

図1. 男性喫煙者の口腔・咽頭がん罹患リスク

男性では喫煙により口腔がんの罹患リスクが2.4倍増加する！

国立がん研究センター 2016 引用

岡本俊宏先生

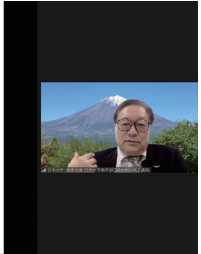


REM 睡眠（目が動く＝頭は起きて！体は寝ている！）
夢を見ているときの睡眠。
急速な眼球運動（rapid eye movement: REM）が出現、浅睡眠に近く、大脳活動は覚醒に近い。記憶の固定、情報整理、脳活動があがる筋弛緩し、上気道閉塞を起こしやすい

non-REM 睡眠（頭が寝て！体は起きて！寝相が悪い）
浅いまどろみ状態の stage1 から、熟睡した stage 3 に区分。「レム以外の睡眠」という意で、Nonが使われる組織修復、Anti ageing、成長発育に関与する（海馬の発育）いわゆる安らかな寝りである。

Movie TOSHIOI_ZOIS_ph.D., JACMFS, Sleep Disturb., sleep surgery 2018

外木守雄先生



令和4年度 歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール



特賞（小学校図画の部）上石神井北小学校2年 稲子友都さん



特賞（特別支援学級の部）匿名希望



特賞（小学校ポスターの部）練馬小学校5年 深澤実緒莉さん



特賞（中学校ポスターの部）大泉西中学校3年 中岡柚菜さん

目次

巻頭言—会長	2
会務報告	4
保険審査委員より	23
連盟だより	24
練学歯だより	25
協力医のページ	26
学会報告	30
新星のページ	32
ブロックだより	38
同好会だより	43
クラブだより	45
すずしろ特集	49
自由投稿	56
弔辞	61
逝去会員	62
編集後記	66

表紙・カット／川村 省吾

4年間を振り返って



会長 齊藤 良造

私達執行部の任期も残すところ3か月余りになりました。2期4年、ご支援ご協力を頂いた会員の先生方に心より感謝致します。

この4年間、私達執行部は今も続く新型コロナウイルスの影響の中、チーム一丸となり、会員の為に安全（Safe）、迅速（Speed）、見せる（Show）の3Sを掲げて会務を執行して参りました。未熟な私を支えて下さった理事の先生方、事務局の職員の方々に感謝致します。本当にお世話になりました。

この4年間を振り返ってみますと、最初の年は、東京都からの立入検査の指摘によって、定款、規約、事業計画の見直しを進めて行きました。また委員の公募も行って、新しい歯科医師会の骨組みを改革して行きました。その改革の最中に、新型コロナウイルス感染症のパンデミックが起きました。私達の生活は、歯科医療も、歯科医師会の活動も今まで経験した事のない大きな社会的変化に見舞われました。

今まで普通に行われていた会合、人との接触が制限されました。そしてマスクの着用、検温、手指消毒などの社会的変化の中で、歯科医師会として、デジタル化の促進、会館の使用方法など、社会生活に遅れを取らない対応を取らせて頂きました。その結果今では普通に行われている、リモートによる理事会、委員会、講演会、総会など会館に集まらなくても出来るようになりました。

これから更にハイブリッドによる会務運営が主軸になり、それに対応する形態を整えていければと思っています。すでにデジタル化の推進と云う事で、FAXからメールへと移行しました。これは通信費の大幅削減にも繋がっております。またデジタル委員会を立ち上げ、更なるホームページの充実、グーグルワークスペースの活用に取り組んでいます。

令和4年3月総会において、会員の会費の見直しを承認して頂きました。安定した財政を確保する為には、数々の努力は必須です。それらを踏まえて、つつじ歯科診療所の運営、

管理体制をより強固にする為に、地域医療委員会に任せるだけでなく、つつじ歯科役員会を新設し、理事会の前に30分程度行い、理事全員で責任を持つ体制を作りました。その結果徐々にではありますが、増収傾向になっております。練馬区から委託されている、成人歯科健診、妊婦歯科健診、長寿すこやか健診なども、歯科健診通信などの発信により、健診率が上昇しております。引き続き会員の先生方のご協力をお願い致します。

昨年より、ウクライナ危機、そして円安、金利上昇、物価高、増税の方向などで、今年の景気の影響がどうなるのか心配であります。そのような中、従来の要望書とは別に、練馬区へ会員の経営安定の為に、「新型コロナウイルス感染症対策・物価高騰対策地方創生臨時給付金の活用」と云う交付金支給の要望を、連盟と共に直接提出いたしました。

練馬区の医療においては、歯科医師会の念願であった、歯科口腔外科が、昨年10月より、光が丘新病院に開設されました。順天堂大学練馬病院も年度内に、3次救急施設指定が見込まれております。区内の医療体制が強化されていますので、更なる医療連携体制を進めて行きたいと考えています。

最後になりますが、一日も早くコロナ感染症から解放され、3月の総会で皆が会館に集まり、お話ができ、次に繋がる歯科医師会を作っていければと切に願っております。本当に4年間お世話になりました。

2 期 4 年を振り返って



副会長 金 川 修

会員の先生方におかれましては日頃より本会事業等にご協力いただきまして誠にありがとうございます。

早いもので齊藤執行部も2期4年の任期を迎えようとしています。思い起こせばこの4年間、今まで通り会館で理事会を行っていたのは最初の一年弱で、残りのほとんどを経験したことのないコロナ禍でのWEB会議という形態で行ってまいりました。そんな中でもこれ程ドラスティックに練馬区歯科医師会を改革した執行部はなかったのではないのでしょうか。

- ・ 各種委員会の再編と費用弁償から委員報酬へ変更
- ・ 公益社団法人化に於ける東京都の立入検査への対応と本会業務の透明化
- ・ 定款及び運営規定の改訂
- ・ 都内四大学プラス明海大学に選出依頼していた各種委員会委員の公募
- ・ 委託していたホームページを自ら運営し充実させる
- ・ zoomを用いた講演会 講習会の確立
- ・ これまで何度となく諮問委員会を設立し検討してくるも実行に至らなかった会費の見直し

等々変革をあげると枚挙にいとまがありません。そんな中でもあえてひとつを挙げるとGoogleWorkspaceの導入ではないかと思えます。これにより郵送又はFAXで行っていた会員への連絡が飛躍的に進化し、事務局の負担がかなり軽減されました。それに加え本会及び自分自身の今後の予定や回覧を含む過去の資料等を自分が見たい時にいつでも閲覧できるようになりました。またこういった組織の性質上秘匿性の担保は大きな利点です。組織でこの様な大きな改革を行う時には必ず障害が伴います。消極的だった会員一人ひとりに連絡し、またこの様なシステムに慣れない会員への勉強会を開催するなど導入に際し中心的に尽力してくれた瓦井専務 山川事務長 そしてその他協力して下さった先生方に

は大変感謝しています。他地区の先生方と会合する機会がありましたが、練馬のシステムは他地区に比べて一歩も二歩も先に進んでいると感じました。

話は変わって私が直接所管する医事処理ですが、会員の先生にメールや電話でアドバイスしたのが3件程度でこの場で改めて報告する程のことはありませんでした。

最後になりますが、この様に様々な改革を実行した斉藤会長 瓦井専務 そして優秀な理事の先生方と末席ではありますが4年間一緒に仕事ができたと、そして改革を了承してくださいました会員の先生方に感謝して終わりにしたいと思います。

令和4年度を振り返って



副会長 浅田 博之

会員の先生方には、日頃より本会事業に多大な御協力を頂きましてまことにありがとうございます。会務20年目になりました。引き続き宜しくお願い申し上げます。今年度のこれまでの会務について御報告させていただきますが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、昨年度に引き続き、今年度も殆ど活動していない1年となってしまいました。

警察歯科についてですが、今年度は、原稿を書いている段階では、1件の身元不明の御遺体の歯牙鑑定依頼にとどまっています。写真による確認は20件近く実施しています。お亡くなりになって間もない御遺体は、コロナウィルス感染のリスクがあるので、現状でもまだ拝見することができないのが現状です。関連の学会として5月15日に日本法歯科医学会（横浜市）に、また、8月6日に警察歯科医会全国大会（大阪市）に参加致しました。3密にならないように参加人数を制限した形で開催されました。

3月には、北海道医療大学の花岡洋一先生による、警察歯科研修会をWeb配信によって実施致しました。

災害歯科についてですが、災害歯科研修会は、3年連続の中止になりました。医療救護所訓練の開催は、11月20日に旭丘中学校、2月19日に光が丘秋の陽小の2か所での実施となりました。

会務報告

保険・公衆衛生については、所管担当理事からの報告がありますので、省かせていただきます。

先生方におかれましては、このような状況下ではありますが、会務遂行に御協力の程、宜しくお願い申し上げます。

現状の練馬区歯科医師会は、他地区の会より遥かに優れたWeb環境が整備されてはいますが、早く元の状況に戻り顔の見える環境で会務が遂行出来ますようお願いしています。

会務報告



専務理事 瓦 井 徹

会員の先生方には、会務事業に多大なるご支援とご協力を頂き、心よりお礼申し上げます。

このすずしろが発行される頃、理事会・斉藤執行部は2期目の終盤に差し掛かっています。東京都より公益社団法人として何回も指摘を受け、会員からも多くの指摘があった会費の問題を、令和4年3月総会にて上程し、可決されました。ご協力頂いた会費等検討委員会の先生方、会員の皆さま、事務局の皆さま、そして理事会のメンバーに心より感謝申し上げます。令和4年4月から新しい会費制度が施行され、おかげ様で1年の約3/4の執行で順調に推移しています。執行部としましては、令和4年度の新会費制度を1年間しっかりと構築して、次期執行部に委譲する事を勧案していたので、安堵している所であります。

コロナ禍での会務の遂行は前代未聞の事ばかりでしたが、2年間開催出来なかったオータムフェスタ、新年祝賀会も会員の安全面を第一に考慮した結果、中止となりました。楽しみにされていた会員の先生には申し訳なく思っております。

デジタル化は、これからの歯科医師会にとって必要不可欠であります。最初は戸惑った会員が多かったWeb会議ソフトZOOMは今や通常使用する様になりました。携帯電話を今では誰でも使用している流れと全く一緒に感じます。ICTといった最初何それ？みたい

な言葉は、たった数年でメジャーになりました。(ICT：Information and Communication Technologyの略) まさにデジタルを使って会員がコミュニティを形成するといった新しい形式です。その根幹のツールが、Google Workspaceです。今では230名以上が利用しており、その数は昔FAXで通信していた人数を超えています。今後増大する情報量を捌くのにマストツールであり、永久的にコストが0円です。

理事会の形式は、今でも進化しています。Google Workspaceのフォーム機能を使用し、大きな案件は前もって理事・監事の意見を収集した資料を作成、各自が熟読した上でZOOMにて参加といった形に変化して行きました。視聴のみで、発言しない理事もフォームでは意見を書き込んでくれます。この意見が非常に大切に、個々の理事の向上心が増加していきます。これらにより、理事会当日は、効率的で客観的かつ積極的な論議が行えるようになりました。

広報・デジタルという所管も誕生し、その中のデジタル部門の精鋭3名が、今の時代に乘ったスピードある会務を実行しています。このすずしろが発刊される頃、練馬区歯科医師会ホームページの完全リニューアルが完了していると思います。第一に区民へのアピールを信条とし、未入会の先生にも目を通してもらえる事を念頭に作成中です。是非、ご覧になってください。これにより新入会に名乗りを上げてくれる若い先生が増加する事を切に願っております。

デジタル化ばかりを書いていると、無機質で対面の無い様に思われるかも知れませんが、専務職になった4年間、電話に費やした時間は人生の中で間違いなく最長でした。特に事務長山川様・斉藤会長とは、1日平均でも2回以上毎日喋っていたと思います。デジタル化しつつ、対話でのコミュニケーションもする事で、円滑な会務遂行が出来たと考えています。僕からの電話を、いやと心では思っても聞いてくれた事務局職員、つつじ歯科職員、理事会メンバーには心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

会員の先生からは、叱咤激励を沢山頂きました。フォームでのアンケートから、問題を提案してくれる先生、無言で良いと返事をくれる大多数の先生、本当に良くなったと言ってくれた先生、ありがとうございました。皆さまのお力添え頂いたおかげで、最後まで会務執行が出来そうです。

理事会の皆さま、楽しくも緊張感のある4年間でありがとうございました。ワンチームだったと思います。事務長山川様、前を向いて良く頑張ってくれて感謝しかないです。斉藤会長には、令和版寺子屋で、色んな事を教わり、苦楽を共にさせて頂き本当に感謝申し

上げます。

練馬区歯科医師会が恒久的に機能していく事を願って、筆を置きます。

会務報告



総務・福祉共済担当理事 吉野 一 雄

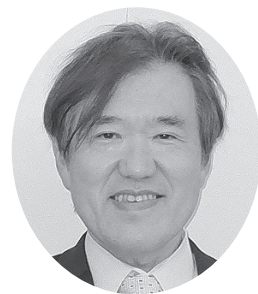
本年度も余すところあとわずかになりましたが、令和4年度の会務報告をいたします。

ルーティンワークとして、来簡文書の整理、理事会議事録の作成、つつじ歯科診療所役員会記録の作成等を引き続き行ってきました。議事録等に関しては、会館エントランス奥の棚に、どなたでも閲覧できるように置いてあります。

会館内の整理の一環として、不要な物を処分、整理いたしました。ほぼ毎日のように送られてくる来簡文書は昨年度よりデータ化して保存することを事務にやっていただいた結果、前年度以前の膨大な量の紙の文書を処分することができました。さらに会館エントランスに置いてある配布物は重要なものを除き一定期間が過ぎたら処分するようにしました。現在、対面での講演会などがほとんどなくなったことやオンライン請求の普及などの影響に伴い、来館される会員のかたも以前よりは少なくなっています。そこでエントランスの出入りをあまり規制せず、広い空間で利用していただくようにしました。また、前年度に整備した談話室の右手の雑然としていたところを整理しました。そして4階の図書室の不用品を処分、整理して、資料の保管場所として利用することにいたしました。

新型コロナウイルス感染症はいまだに収束することはなく、この先もいつまでこの状況が続くのか予想もできません。とは言え、当初に比べると、この感染症に対しどう向き合っていくかということの認識が日常化し、少しは落ち着きを取り戻してきたように感じられます。現執行部では、コロナ禍という状況ということもあり、様々なことが大きく変化しました。次期執行部におかれましても、ぜひこの流れを汲んでいただきたいと切にお願い申し上げます。

会計担当 4 年目、任期満了にあたり 感謝、感謝、感謝です。



会計担当理事 池 田 頼 宣

会計担当理事に就任して3年半が過ぎ、2期4年間の任期満了が近づいてまいりました。あと2回の総会はいかがでしょうか？

今年の会計会務報告は現在この原稿執筆時は12月であり、11月次決算まででは年合計の3分の2しか集計できておりません。が、現況で報告させていただきますと……
講演会などの事業の中止やデジタル化に伴い経費の縮小化を行うことができました。また応能会費はなくなりましたが練馬区の健診事業、つつじ歯科での診療が伸び、それに伴い受託事業負担金収入が予想通り増加しました。すずしろの会務報告は難しいと思います。なので今回の会務報告は無事に会計担当理事を卒業できると思うので最後くらいはこれまでの多くの先生方への感謝をお送りしたいと思います。

思い返すと着任した時は前任理事会が編成した予算案を執行しながら、本会会計の難しさを学びました。また半年目からは各理事、各委員の先生方のご協力を頂き、会長以下三役の先生方の指示のもと山川事務長にも協力いただき予算編成を行いました。最初は本会の事業、組織も理解できておらず、予算決算特別委員会委員などの多くの先生方にご迷惑をおかけいたしました。改めてその際ご教示、ご指導いただいた先生方に感謝申し上げます。

また令和2年度から始まった予想だにしなかったコロナ禍によって多くの事業が中止になり、それをある意味千載一遇のタイミングと捉え組織の運営方法の革新を斉藤会長の英断と瓦井専務主導のもと執行することになりました。特に会計面では今後レセプトのオンライン化により応能会費の無実化が予想される中、その応能会費を無くし受託事業負担金を設定する事ができました。その際には会費等検討委員会の先生方には真摯に本会のために御協議をして頂きました。誠に感謝申し上げます。そのおかげをもちまして令和3年度第2回総会に会費制度の改定を上程でき、多くの会員の先生方に賛同して頂きました。これも感謝、感謝です。

会 務 報 告

また最後に予算決算特別委員会や総会で私がめげても温かく応援してくださいました斉藤会長をはじめ現理事、監事の先生方に感謝申し上げます。

練馬区歯科医師会の多くの先生方の本会の事業に対しての熱い気持ちによってどうにか私も職務が全うできそうです。本当に皆さんのおかげです。

皆さんに感謝，感謝，感謝です。

学術委員会会務報告



学術担当理事 栗 田 知 之

今年度も、本田美知子委員長，大川内 誠副委員長，日下 崇委員，佐藤大翼委員とともに楽しくなんとかやってきました。

第1回学術講演会は令和4年5月20日（金）20時よりZOOMライブ配信で、東京医科歯科大学准教授の西山 暁先生により「TCHを再考する ―発生要因と顎口腔系への害について―」という演題で行われました。

TCHとは「くいしばり，噛みしめ」よりもずっと小さな力で「軽く上下の歯を接触し続けている」癖で、顎関節症の寄与因子として登場した概念でしたが、歯周病や知覚過敏，義歯性疼痛など顎口腔系に様々な影響を及ぼしています。その具体的な症状や対処法など，まさしく日常臨床に直結する内容でした。多数の出席者があり，講演後は質疑応答が行われました。

第2回学術講演会は令和4年12月14日（水）20時よりZOOMライブ配信で、日本大学歯学部教授の外木守雄先生により「ストップ ザ イビキ 閉塞性睡眠時無呼吸症に対する歯科の役割について」という演題で行われました。

閉塞性睡眠時無呼吸（OSA）は，睡眠時に気道が狭窄・閉塞してイビキ，無呼吸が発生し熟睡できないことから日常生活に支障をきたす病気です。歯科医師が制作する口腔内装置は，イビキ，低・無呼吸に効果があり，睡眠の質を高めることができます。この装置の適切な制作法と，OSAの基本的な事項について講演していただきました。今回も多数

の出席者があり、講演後は質疑応答が行われました。

また、今年度も会員のWEBサイトのグーグルドライブ中の「共有ドライブ」→「情報ライブラリー」→「学術いろいろ情報」の中に歯科雑誌、一般新聞雑誌、ネットなどからの歯科、医科の情報や、会館図書室の在庫図書の写真を載せています。たどり着くのが少し大変ですが、お役に立つと思いますので是非ご覧ください。

最後になりましたが、広報担当理事を2年間、学術担当理事を2年間、務めさせていただきありがとうございました。とくに、事務局の方々には本当にお世話になり感謝いたしております。

公衆衛生事業 会務報告



公衆衛生担当理事 宮 本 一 世

今年度は「成人・妊産婦・長寿すこやか歯科健診」の受診勧奨に注力いたしました。会員の皆さまの積極的なご協力のおかげで、前年度を大幅に上回る実施件数となっております。公衆衛生事業の柱である健診事業が前進したことは、大きな成果となりました。

またコロナ禍で事業を継続していくために、これまで以上に区との連携協力を図ってまいりました。その中で、今年度は「よい歯よい子のつどい」を初めてオンライン開催し、youtube でオンデマンド配信致しました。成果については再評価が必要ではありますが、新しい様式にトライしたことは意味があったと考えております。

幼児歯科健診につきましては、これまでのFAXによる事前連絡を廃止し、Googleカレンダーを利用した通知となりましたが、大きな混乱もなく実施できました。

一年を通して、会員の先生方のご理解とご協力のおかげで事業を遂行することができました。以下に御報告するとともに、御礼を申し上げます。ありがとうございました。

令和4年度 会務報告

1. 成人・妊産婦・後期高齢者歯科健診事業の充実

◇受診勧奨の強化

会員診療所における受診勧奨を強化する目的で、「月刊歯科健診通信」を毎月発行しました。これまであまり健診事業に積極的ではなかった会員にも興味をもっていただき、意識づけを図ることをねらいとしたものです。

2. 歯の衛生週間行事の実施

「歯と口の健康週間行事」は、練馬区と共催で実施する啓発事業です。

◇歯（ハ）ートファミリーコンクール — R4年5月18日（水）

19組46名のご家族が参加されました。感染対策を徹底したうえで、公衆衛生委員が口腔内診査、写真撮影を実施したのち、表彰者の選考を行いました。

◇歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール

- ・小学校図画の部 参加数155点
- ・小学校ポスターの部 参加数162点
- ・特別支援学級の部 参加数10点
- ・中学校の部 参加数93点

◇よい歯・よい子のつどい

コロナ感染症拡大に配慮し、初めてオンライン開催しました。区報で周知することで、参加者だけではなく区民が広く触れることができ、区民に向けて歯と、お口の健康づくりを啓発するという本来の目的において、意味がありました。

R4年11月5日（土）オンライン開催

- ・歯ートファミリーコンクールの部 表彰者5組参加
- ・図画・ポスターコンクールの部 表彰者25組参加

R4年11月11日（金）～11月30日（水）youtube配信（本会チャンネル）

- ・歯ートファミリーコンクールの部 視聴回数169回
- ・図画・ポスターコンクールの部 視聴回数179回

3. 練馬区歯科保健事業への協力

◇「オーラルフレイルを予防する！ すこやか健口教室（2日制）」

・第1回 R4年9月30日（水）光が丘区民ホール

昨年と同様に「オーラルフレイルを予防する！ すこやか健口教室（2日制）」として事前予約制で開催しました。参加者のなかからオーラルフレイルの恐れのある方や希望者を対象に、2名の公衆衛生委員が歯科相談を行いました。高齢者の方々が集まって交流することの大切さを感じるイベントでした。

・第2回 R5年3月17日（金）石神井公園区民交流センター

4. 保健所・保健相談所との連携

◇練馬区歯科医師会・練馬区健康部連絡協議会 ― ハイブリッド開催

令和5年1月26日（木）

毎年1回、健康推進課歯科保健担当係や区内6ヶ所の保健相談所の歯科衛生士の方々と、歯科保健事業全般についての意見交換を行い、連携の強化を図っています。昨年度同様、ハイブリッドでの開催となりました。

5. 保育園嘱託歯科医としての職務遂行及び資質向上

◇保育園歯科講演会 ― 令和4年11月30日（木）19時30分 Web開催

講師 浜野美幸先生（大田区開業）

演題 「育てよう！ 子どもの口腔機能」

今年度もオンライン開催をしました。小児歯科医としてご活躍の浜野美幸先生をお招きし、口腔機能発達不全症への対応についてご講演をいただきました。

保育園関係者、本会会員合わせて約120名の方が参加されました。

◇私立保育園の嘱託歯科医の推薦

区を通して依頼があった保育園の嘱託歯科医の推薦を行っています。今年度は新設される5園から推薦依頼がありました。

◇保育園医への情報提供

コロナ感染症拡大状況の推移に応じて、保育園での歯科健康管理や歯科健診におけるガイドラインなどの情報が随時更新されています。区立保育園だけではなく、私立保育園医に向けても、その都度情報提供を行いました。

6. 母子歯科保健対策

◇『ねりま子育て応援ハンドブック』への広告掲載

練馬区が作成している『ねりま子育て応援ハンドブック』に、練馬区歯科医師会の広告を掲載しています。これは、子育てに関する様々な情報を掲載する100ページ程の小冊子で、母子手帳と一緒に妊婦に配布するなどして、広く子育て世帯に利用されているものです（発行部数15,000部）。幼児健診とともに子育てをサポートする歯科医師会を区民にアピールし、妊産婦歯科健診などの受診へとつなげるねらいがあります。

◇幼児歯科健診

- ・ 1歳6ヶ月児歯科健診
- ・ 3歳児歯科健診

今年もコロナ禍での実施となりましたが、一年を通して大きな混乱はありませんでした。ご協力いただいた先生方に御礼申し上げます。

これらの各事業を通して、多くの会務に積極的に取り組んでいただいた公衆衛生委員の先生方に深く感謝いたします。ありがとうございました。

会務報告



医療管理担当理事 高木 裕 明

ポーン！《機内アナウンス》

本日はtdaメンバー「nda航空」をご利用いただきありがとうございます。

機長は安全、安心の運航を心がける斉藤良造・副操縦士は運航上のトラブルに対応する金川 修・そして警備、災害対策を練る浅田博之です。Chief Purserは瓦井 徹、航空機内でもデジタル機器が自由に使える環境を整えて皆様の快適な空の旅のお手伝いをいたします。

当機は離陸後程なくしてコロナ気流に見舞われお食事・アルコールの提供は控えさせて

頂きましたが、消毒用のアルコールをお届けし、また緊急用の酸素マスクもお配りしました。nda機はtdaグループの中でも有数の大きさの為、通信手段としてgoogl work spaceを導入しましたが、当初デジタル迷い子が発生しました。Chiefがデジタルに詳しい人員を招集してパソコン教室による検索を行った結果多くのお客様と連絡が取れ、以前より早く・多くの情報をお届けできる状態になりました。私も実は貨物室に迷い込んで難儀しましたが何とか客室に戻る事が出来ました。

断続的にコロナ気流に巻き込まれましたが、現在巡航速度で運航中です。

《令和4年度 医療管理事業》

【救急医療研修会】

「日時」 R4年7月13日（水） 20時

「演題」 「歯科医院におけるリスクマネジメント」

「講師」 前田 茂 教授 東京医科歯科大学 [歯科麻酔・口腔顔面痛制御学分野]

【税務講習会】

「日時」 R4年12月13日（火） 20時～

「講師」 税理士法人 千代田タックスパートナーズ代表社員 税理士 今村 正 氏

【会員・家族・従業員健診】

「日時」 R5年2月9日（木）、12（日）、16日（木）、19日（日）

「場所」 練馬区医師会医療健診センター

さて予測出来なかった天候の為不自由は有りましたが、医療管理部としては皆様が安心して旅を続けられる為の補助金申請、またコロナ酔い予防のワクチン接種のお手伝いをさせて頂きました。目的地まで後わずかとなり当機は現在高度を下げております。デンタル国では入国の際にオンライン資格確認カードの提出が義務付けられておりますので準備もお願いします。着陸までは皆様の安全に留意し執行部一同尽力して参ります。

保険 令和4年度事業報告



保険担当理事 鳥 越 博 貴

1. 地区保険担当理事連絡協議会への参加

第1回地区保険担当理事連絡協議会（令和4年7月28日）

都歯事業計画・レセプト審査状況・医療機関への行政指導・保険講習事務等について

2. 保険整備会

毎月レセプト提出日2日目に整備委員により提出された紙レセプトや返戻レセプトのチェックを実施しています。

3. 訂正整備会

整備会でチェックされた事項で整備会当日に連絡できなかった先生方に整備会当日および翌日11時～12時頃に電話連絡にて訂正整備をさせていただきました。10月より後期高齢者の2割負担ができたことで新しい特記事項や、配慮措置などややこしい手間が増えてしまいました。

4. 保険講習会

令和4年4月7日に診療報酬改定に伴う伝達講習会を行いました。講師として（公社）東京都歯科医師会 社保担当理事 山本啓太郎先生をお招きし講演いただきました。新型コロナウイルス感染症対策としてWeb開催といたしました。

5. 新規個別指導及び個別指導への対応

指導に際して、対象となる先生方がご希望される場合には事前にカルテ等のチェックを行いました。また指導当日には指導現場での立会いを行いました。

6. 保険相談

レセプト整備会当日に会館3階の整備会会場及びオンラインにて、保険相談コーナーを設け会員からの保険に関するご質問やご相談に対応してまいりました。

相談をお受けするのは嘱託の伊藤伸介先生、鶴岡岳史先生及び保険担当理事です。

返戻レセプトや保険請求に関する事などの相談をお受けしております。

相談時間は午後7時より8時半頃までです。

7. 練馬区国民健康保険運営協議会への参加

練馬区の国保事業に関する諸問題を協議検討する会です。第1回（令和4年8月19日開催）は浅田博之保険担当副会長と保険担当理事が出席いたしました。

8. その他

毎月初旬に、つつじ歯科診療所と練馬休日急患診療所のレセプト及びカルテ整備を保険担当理事が行ってまいりました。

お蔭様を持ちまして、保険担当理事の任期を終えることができそうです。令和2年、4年とも大きな診療報酬改定がなかったものの、オンライン資格確認導入の義務化により、レセプトの提出方法もオンライン化へ一気に傾くものと思われ、紙レセプトの整備会の在り方も大きな分岐点になっているようにも感じます。

会員の皆様には、今後とも会務にご理解ご協力賜りますよう、どうぞよろしく願い申し上げます。

会務報告

地域医療・つつじ歯科担当理事 黒田 耕太郎



日頃より会員の先生方には地域医療の行事や業務等にご参加・ご協力いただき、誠にあ

会 務 報 告

りがとうございます。新型コロナウイルス感染症も3年たち、相変わらず感染は収まりませんが、ウィズコロナの新生活の中でオンラインを活用しコロナ以前と変わらぬ活動が出来ました。

○摂食・嚥下リハビリテーション外来協力医向け研修会

摂食嚥下リハビリテーション外来発足以来15年間行われていなかった協力医の新規募集を行いました。

第一回研修会 5月31日「摂食嚥下障害の評価と訓練の実際」

戸原 玄先生（東京医科歯科大学病院 摂食嚥下リハビリテーション科教授）

第二回研修会 6月29日「かかりつけ歯科医が実施する診療室を核にした在宅支援～口腔機能検診（フレイル）から摂食機能療法に至る対応と考え方～」

植田耕一郎先生（日本大学歯学部附属病院 摂食機能法学講座教授）

第三回研修会 9月1日～9月20日 動画配信 「協力が得にくい方にもできる嚥下訓練法の紹介—干渉波感覚刺激装置の効果—」

中根綾子先生（東京医科歯科大学大学院 摂食嚥下リハビリテーション学分野）

以上3つの研修会を受講した10名が10月より新規協力医として診療に当たっています。

○地域医療講演会

9月15日（木）東京歯科大学名誉教授の奥田克爾先生をお招きして「ウイルス感染予防と口腔ディスプレイ」 という題目の講演会が行われました。

コロナ禍で歯科診療を控える患者さんがいる中で、「お口の健康はウイルス感染リスクを下げる」ということで口腔ケアの重要性などを講演してくださいました。

○口腔がん早期発見を目的とした区民向け講演会

昨年度はYou Tubeによる動画配信でしたが、10月16日（日）練馬区役所アトリウム地下多目的会議室に練馬区民100人をお招きして開催いたしました。長年講師を務められた東京歯科大学名誉教授・柴原孝彦先生に代わり東京歯科大学副学長・口腔病態外科学講座

教授の片倉 朗先生に「口腔がん自己チェック法を学びましょう」という題目で講演していただきました。

○口腔がん早期発見目的とした啓発事業研修会

11月17日、昨年度は行われなかった口腔がん健診協力医研修会も柴原先生に代わり東京女子医大歯科口腔外科の岡本俊宏先生に「口腔がん かかりつけ歯科医院での早期発見を」という題目で講演していただきました。かかりつけ歯科医で発見された症例などの臨床写真を豊富に用いたご講演でした。

研修会を受講した50名が来年度の口腔がん検診協力医に登録されます。

○摂食・嚥下機能支援センター評価医向け研修会

1月27日、昨年つつじ歯科の指導医を退職した古賀ゆかり先生に代わり中根綾子先生（東京医科歯科大学・つつじ歯科診療所指導医）に「摂食嚥下機能評価から繋がる支援」という題目で講演していただきます。

○練馬区糖尿病医療連携および研修会

令和5年2月14日菅原正弘先生（東京都糖尿病医療連携協議会副会長、練馬区糖尿病医療連携検討専門部会座長・菅原医院院長）に「東京都糖尿病医療連携協議会、練馬区糖尿病医療連携ネットワークにおける歯科との連携の取り組み」という題目で講演していただきます。

例年、本会会員で行っていた糖尿病医療連携の実態調査アンケートを今年度は練馬区医師会と合同で行いました。結果は上記の研修会と令和5年2月9日に行われる糖尿病医療連携ネットワーク推進講演会で発表の予定です。また、令和5年6月4日に開催される練馬医学会で、練馬区医師会と練馬区歯科医師会が合同で発表する予定です。

○周術期協力医研修会

新築移転した練馬光が丘病院の先生に講演していただき連携を深めていきたいと思っています。

○練馬つつじ歯科・休日急患診療所

つつじ歯科診療所においても、患者さんが新型コロナウイルス感染症に感染し突然の予約キャンセルもありますが、以前の運営状況にもどってきております。スタッフや指導医にも感染者が出ていますが代理を立て協力して運営しております。

令和元年に理事を拝命し、残す任期もあと少しとなりました。4年間にわたりご支援ご協力いただいた多くの方々に心より感謝申し上げます。

地域医療委員会会務報告
—今期の担当理事活動を振り返って—



地域医療・つつじ歯科担当理事 蓮池 敏明

2019年の初夏に誕生しました現執行部も今期は残すところ半年となりました。ここで小生が地域医療担当を拝命してからの3年半を改めて振り返りますと、発足から半年余りにして突然起こったCOVID-19の大流行という問題は避けて通れません。まさに晴天の霹靂であります。この流行のため、会員の皆様の診療所と同様に「練馬つつじ歯科診療所・休日急患診療所」の運営にも多大な影響がありました。対策としましては、対面による会合は早々に中止とし他の歯科医師会に先駆けてオンライン理事会を導入しました。またその他の会務の多くをDX化し感染防止策とするとともに様々な効率化が図られました。さらには会則等も改革・近代化されました。以上は会長をはじめとする執行部の発案と実行力の賜物と存じます。これらを発展させると、サイバーシティの構築も夢ではないかもしれません。

転じて世界情勢を見回すと、情報収集の利便性も影響しているのでしょうか、近年は民主主義国家より権威主義国家がその意思決定のスピード感や効率から勢力を拡大しているようです。私たち国民の感情からすると一抹の不安を感じるのも正直なところです。医療界においては、個人認証システムやデジタル保険証の早急かつ一方的な導入等が挙げられましよう。

今後は孔子の説いた温故知新という考え方や、性善説を説いた孟子の朋友有信・長幼の序等の教え等にもありますように、これまで築かれてきたアウトカムをこれからの歯科医師会の発展の糧にして頂きたいと存じます。斯様にこれからの地域医療委員会運営に生かして頂くことにより、練馬区歯科医師会のステークホルダーである区民や会員の幸福に繋がるものと確信しております。

これからも地域医療委員会の運営に対し会員皆様の変わらぬご助力を頂きたく、何卒宜しくお願い致します。

2022 年度広報・デジタル委員会会務報告



広報・デジタル担当理事 浅見 律

コロナ禍も三年目に入り各会合が行われない最中にも係わらず、すずしろの原稿依頼を、お願いした先生方には快くご協力をいただきありがとうございました。

今年度より原稿依頼もメールによる依頼に変更させて頂きましたが、皆様のご協力のもとスムーズに行なわれたと思っております。

昨年度より広報委員会は広報・デジタル委員会に名前を変えて活動をして来ましたが、更に今年度よりデジタル委員を二人に増やして活動を進めてまいりました。

政府もデジタル庁を創設して本腰を入れ始め、マイナンバーカードの申請率も11月で60%を超え、オンライン資格確認も2023年4月から導入が原則義務化されました。

またインボイス制度も来年の10月より導入され、いよいよ来年はデジタル化時代の幕開けになりそうです。

そんな中で練馬区歯科医師会も時代に乗り遅れることなく今年度もデジタル化を進めてまいりましたが、急激なデジタル化に対応出来ない先生方には大変ご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げる次第です。

何度か講習会を実施してまいりましたが、デジタル化が難しい理由としまして以下の3つが上げられると思います。

1. デジタル用語が難しい
2. 電子機器を使いこなすのに時間がかかる
3. 慣れたやり方が大きく変わってしまう

これからの生活の中でデジタル化が家電製品のように扱われて行くと思われまので、時間をかけてゆっくりと取り入れて、慣れて頂きますようよろしくお願い申し上げます。使い慣れてしまえば、もう後戻りは出来ない程の便利さと効率性を感じて頂けると思います。

監事報告



監事 名古谷 昌 宏

会員の先生方には日頃より本会の事業活動にご協力頂き有難うございます。

コロナ禍になって三年余り、令和四年十二月現在第八波へと突入し、いつ収束するのか先の見えない状況が続いています。

本会事業においては、四月から新しい会費改定が執行されました。又、Fax回覧がWeb回覧へと移行し、各委員会による講演会、研修会はZoom開催となるなど諸々の事業改革が実施された結果、本会の事業収益は順調に回復しています。これも齊藤会長以下執行部の先生方の会を改革するという並々ならぬ努力の結果だと思えます。

私たち監事二名は令和四年五月十二日に会計担当理事、事務局の立会いのもと会計検査を行いすべて適正であると認めました。

このことは令和四年六月二十三日の定時総会において報告し、承認されました。くわしくは令和四年度定時総会資料をご覧ください。

本執行部の任期も残り少なくなりましたが今後とも会員の先生方のご協力をよろしくお願いいたします。

社保審査会の現状



社保審査委員 鶴岡岳史

社保審査委員をさせて頂き、1期2年も終わりに近づいて参りました。始めは慣れない仕事で色々苦勞しましたが、先輩の先生方に良くして頂き、最初に比べ審査にもだいぶ慣れてきました。この場をお借りして御礼申し上げます。

支払基金は2022年10月より、審査事務集約が始まり、審査支払業務の効率化や審査結果の不合理な差異解消の取り組みが進められています。

具体的な改革の取組状況につきましては、①審査支払新システムの構築（AIによる振分機能の実装）。②既存のコンピューターチェックルールの見直し。③審査の差異の可視化レポート機能の導入。④統一的なコンピューターチェックルールの設定。⑤医療機関等において請求前の段階でレセプトのエラーを修正する仕組みの導入。⑥審査結果の不合理な差異解消の取組。⑦業務棚卸等による効率化の推進。⑧集約の実施に係る人事の方針等と、人員体制のスリム化。⑨事務所の有効活用。となります。

私たち審査委員もAIで抽出されたレセプトを審査するシステムに変わり、紙レセプトは殆ど見る事はなくなりました。審査会場の雰囲気も一段と変わりましたので、気持ちを新たに、引き続き2期目も務めさせていただきます。今後ともよろしくお願いいたします。

会員の皆様



練馬区歯科医師連盟
理事長 有 福 章 徳

平素は連盟の活動に多大な御協力を賜りまして誠に有難うございます。

令和4年度は、4月に区長及び区議会議員の補欠選挙、7月に参議員選挙が行われました。会員の先生方の御協力により、練馬区歯科医師連盟推薦の区長に前川あきお候補、区議に西山きよたか候補が当選されました。区長選はかなりの接戦でぎりぎりまで当確がでませんでした。約2,000票差で当選いたしました。

又、参議院議員選挙は全国比例代表の山田ひろし候補、東京選挙区の朝日健太郎候補、生稲晃子候補以上自民党、又、公明党の竹谷とし子候補、日歯連盟都歯連盟の推薦候補すべて当選いたしました。参議院選挙中に遊説していた安倍元総理が銃弾に倒れる事件があり、自民党の選挙活動を中止するという異例な状況にまで発生いたしました。安倍元総理のご冥福をお祈りいたします。

合掌。

練馬区学校歯科医会から会員の先生方へ



練馬区学校歯科医会

会長 草 柳 英 二

会員の方々には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は学校歯科衛生活動に格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

「COVID-19」このワードは、世界史及び日本史の一項目として永遠に刻み込まれることでしょう。令和元年暮れに中国・武漢で発生した「新型コロナウイルス感染症」は、世界中を渦に巻き込み瞬く間に大多数の感染者数及び多くの死者を出し、脅威のウイルス感染症となりました。

日本全国の歯科医師及び歯科医師会も大きな影響を受け、感染症対策にあらゆる手段を捻出され、対応に追われ大混乱を招きました。令和3年頃にはようやく感染対策も浸透し、徐々に安定した歯科保健活動も遂行されて来ました。しかしながら、新生活様式による幾多の弊害も表面化しており、児童虐待やネグレクト等の多くの事例が表面化しました。令和4年末現在、オミクロン株感染の第8波が拡大しております。残念ながら終息の道は、まだまだ見えないようです。

練馬区学校歯科医会は、昭和30年に練馬区歯科医師会から独立し、正式に発足致しました。「むし歯半減運動五カ年計画」が設立され、多くの学校歯科保健活動の事業が遂行されました。練馬区学校歯科医会は、児童生徒の健康づくり事業に発展と充実に尽力を注ぎ、令和2年までの65年間の変遷を「練馬区学校歯科医会65年記録誌」として編纂する事が出来ました。「学校歯科医会の始まり」「練馬区学校歯科医会の歩み・65年の略史」「各種歯科保健研究大会」「学術研究資料」「練学歯だより掲載項目」「練馬区学校歯科医会歴代役員・会員名簿・会則」等を掲載し、この記録は先輩諸氏の熱意と努力の足跡であり、今後も私たちは、練馬区学校歯科医会の伝統を継承してゆきたいと祈念いたしております。是非とも「練馬区学校歯科医会65年記録誌」をお読みいただき「歴史」を感じ取りいただければ幸いです。今後も練馬区学校歯科医会は、練馬区歯科医師会および練馬区歯科医師連盟と共に練馬区児童生徒のために歯科保健活動の健康維持充実のために邁進してゆきたいと思っております。

協力医のページ

摂食・嚥下協力医ができることはなんでしょう



摂食・嚥下リハビリテーション外来協力医 大塩 かおり

摂食嚥下関連医療資源マップを、戸原先生から紹介された「命のワンスプーン」植田先生の著書で読んだ。この数年来、口から食べるということは大変クローズアップされて、今や摂食・嚥下リハビリテーションは遠い世界ではなく、大きな欠かせない存在となっている。学生時代には講座も学ぶ場も無かった。食べる機能の障害という本を読んだが、それから10年以上してこの様に地域で関わらせていただくようになるとは思ってもよらなかった。練馬に来てくださる指導医の先生方の熱い情熱が、今の日本で食べる機能の障害を抱えた方々と、その家族の大きな支えになっていると思う。口から食べることの支援はここ数年メディアでも取り上げられ、困っている方の声も取りあげられる環境は加速しているように思える。地域はどうかだろうか？練馬区は毎週火曜日の外来、水曜日の訪問が指導医の元に行われ、私たち協力医は数ヶ月に一度ともに参加して外来、または訪問で集うのだが、どんどん進歩している摂食嚥下の学びと療法に追いつけていない。立ち合う回数が少ないためと言い訳してしまって、指導医の先生方には本当に申し訳ない気持ちで参加している。年に一回でも良いので協力医同士集まって症例検討の場などを設けてディスカッションできるともう少し理解も深まり、学ぶことができるので、そのような場を作りたいと願う。個人的に学会や勉強会に参加して知識を得ることは可能である。しかし実際の臨床の場で関わった時だけでなくその他の方に対して行われていることをお互い学ぶことで、練馬という地域で摂食機能療法を受けられた方々について様々な例を多く共有することができる。それが私たちの学びにも繋がり、この地区での摂食・嚥下協力に求められている事ではないかと思う。

注意している3つのこと

練馬つつじ歯科診療所指導医
(日本大学歯学部歯科麻酔学講座)
岡 俊 一



毎週木曜日の午後、「練馬つつじ歯科診療所」で、障害を持った患者さん、高齢者の方の歯科治療が円滑に行えるよう、主に全身管理を担当としている岡と申します。平成20年よりお世話になっているので、もう14年になります。平成20年以来、注意していることを記します。

1つ目ですが、当時、一緒に参画した上司からは、次のようなことを言われました。「歯科麻酔科医という立場上、歯科治療を直接やるのではなく、その日いらした患者さんの全身状態をチェックすることに専念しろ。そして専従の指導医（小児歯科）の先生とともに今日やる歯科治療の内容を他の歯科医師に具体的に指示しろ」と。つまり、歯科治療をやる欲求を抑え、患者さんが来院した瞬間から、患者さんの顔色、表情をチェックし、患者さんと話をし、必要なら治療内容を変えてもらうよう指示することに徹するようにしています。

2番目は、なるべく早くある程度の状態まで患者さんの口腔内を持っていくことです。この「練馬つつじ歯科診療所」は障害を持った患者さんだけではなく高齢者も来院されます。以前、他区出身の元東京都歯科医師会会長よりある酒席で、「ご高齢な方はいつどうなるかわからないので、亡くなったときに菌もないのか？と周囲から思われないように可及的に速やかにやるように」と言われたことが忘れられません。以降、いつもこのことを心に留めて全身管理を行っています。

そして、3つ目。ここは輪番制の診療所です。輪番制には治療が平均化するというメリットがあります。しかし、前回の担当医からの引き継ぎが正しく行われないと患者さんに誤解を与える可能性が常にあります。このことはトラブルの原因になります。そうならないように常に意識していますが、ありがたい事にこの診療所には、優秀で笑顔の素敵な衛生士さんやスタッフが揃っています。いつも患者さんの訴えを我々に伝えてくれています。

「練馬区につつじ歯科診療所あり」と練馬区民がいつでも安心して歯科診療に来てくれるようスタッフとともにこれからも頑張っていく所存です。どうかよろしく願いいたします。

練馬つつじ歯科診療所の衛生士として



練馬つつじ歯科診療所歯科衛生士 吉田 葉子

令和3年8月より練馬つつじ歯科診療所に勤務させて頂いております歯科衛生士の吉田と申します。

日頃より、練馬区歯科医師会の理事の先生方、練馬つつじ歯科診療所の協力医の先生方、各大学の指導医の先生方、共に働くスタッフの皆様には大変お世話になっており改めて感謝申し上げたいと存じます。

私はこれまで開業医や病院での勤務を経験いたしました。長く勤務しておりました病院においては、一般の患者様の他に成人の精神疾患の方や認知症の患者様が多く、外来診療や病棟等での口腔ケアをしておりました。

一方、つつじ歯科での障害者歯科や摂食嚥下診療等は全くの未経験でしたので知らないことも多く、最初の頃は戸惑いや不安、プレッシャーで押しつぶされてしまいそうでした。今でも診療日は大変緊張しながら出勤しております。

しかしながら、医療現場においてこちらが不安を抱えてはいけません。そう考え、単純な私は最初の頃、本を読みました。

ただ、本ですと自分の範囲での理解に留まり、より実践的な障害者歯科の知識習得には及びませんでした。

そんな時、指導医の先生方や協力医の先生方、共に働く衛生士の方々が一つ一つ丁寧に指導して下さりサポートして下さいました。

例えば、レストレーナーの巻き方、ユニットへの移乗、診療補助や対応の仕方、薬剤の危険性、全身管理におけるモニタリングの必要性、障害者歯科の静脈内鎮静法、口腔ケアそして、患者様へのサポート、ご家族との関係のあり方等。

様々な事を親切、丁寧に的確に教えていただきました。

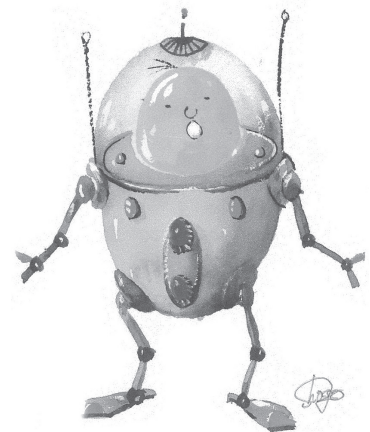
中でも、摂食嚥下診療では、だんだんと食形態がアップしていく患者様を目の当たりにしました。口から物を食べることで元気になる患者様の姿からは、食べられる事の楽しみ

を再び知る事の素晴らしさを学びました。指導医の先生方は介護者であるご家族の苦勞に寄り添い、お気持ちに配慮したお言葉をかけていらっしゃり、こちらが胸が熱くなってしまふ場面もありました。

また、つつじ歯科の衛生士の皆様は、患者様を優しく見守りながら自然な声かけをし、移乗のお手伝いなども絶妙なタイミングで実施しており、患者様へのサポートやご家族への配慮等対応が非常に素晴らしく日々学ばせていただいております。

つつじ歯科に携わる一員として、これからも医療安全に配慮し、患者様にも満足して頂けるよう精進していきたいと思っております。

今後ともご指導の程、よろしくお願い申し上げます。



学会報告

第19回 警察歯科医会全国大会



警察歯科委員会 西 克 昌

第19回警察歯科医会全国大会が令和4年8月6日（土）シェラトン都ホテル大阪にて開催された。練馬からは浅田博之先生と西が参加しましたが、今回は会場開催のみで、Web中継はありませんでした。大会は大阪府歯科医師会 吉岡慎郎副会長の開会宣言に始まり、大阪府歯科医師会 深田拓司会長の主管挨拶、日本歯科医師会 堀憲郎会長の主催者挨拶に続き、警察庁刑事局捜査第一課検視指導室長 崎山慶様の来賓挨拶がありました。その後來賓祝辞として内閣官房副長官・衆議院議員 木原誠二様、大阪府知事 吉村洋文様、大阪市長 松井一郎様のビデオメッセージがあり、最後に大阪府警察本部長 野村謙様の祝辞が会場にてありました。

特別講演は関西大学社会安全学部特別任命教授 同社会安全研究センター長 河田恵昭先生による「南海トラフ巨大地震や首都直下地震に心配な「相移転」の発生と被害予防策」でした。河田先生は自然現象の「想定外」ではなく社会現象の「相転移」によって未曾有の災害が発生する。東日本大震災でも津波が「想定外」の高さだった事が原因ではなく、住民の27%が避難しなかった「相転移」が起こった事が被害を大きくした理由である。相転移災害では事前対策が可能であると述べられた。

基調講演①は大阪大学大学院医学系研究科法医学教室教授 松本博志先生による「死因究明は私たちの未来を創る」で、基調講演②は大阪歯科大学歯学部歯科法医学教室教授 大草亘孝先生による「身元確認作業における惨事ストレスとその対処」でした。

シンポジウムは日本歯科医師会副会長 柳川忠廣先生を座長として、シンポジストに大阪府警察本部刑事部鑑識課身元・足跡担当課長補佐警部 戸田真司様、大阪府政策企画部危機管理室室長 小池重一様、大阪府歯科医師会常務理事災害対策室長 山本道也先生に発表をして頂き、助言者として先ほど講演を頂いた3人の先生を迎えて「大規模災害」に

向けての警察歯科の役割」について話し合われました。

次回開催県挨拶は山口県歯科医師会会長 小山茂幸先生によって2024年8月3日（土）午後1時から「かめ福オンライン」山口県山口市湯田温泉4丁目5-2と発表されました。

閉会は大阪府歯科医師会副会長 木田慎敏先生の挨拶の後、隣の会場にてポスターセッションが行なわれました。



会場にて 浅田博之 西克昌

新星のページ

諸先生のご指導，ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます

おさのひとし
小佐野 仁 志

日本大学歯学部・昭和56年3月卒
日本大学大学院歯学研究科・昭和60年3月卒



☆自己紹介：練馬光が丘病院歯科口腔外科部長の小佐野仁志と申します。

口腔外科を専門として，自治医科大学附属病院と自治医科大学附属さいたま医療センターに計35年勤務し，昨年3月定年退職しました。自治医大に在職中は若い医員よりも多くの患者さんを診察することを目標として，臨床に力を入れてまいりました。その結果，若い医員にはより強い負担を強いることになったかと思いますが，やはり臨床医は経験が重要です。現在も患者さんを通して医療を学ぶことで毎日新たな教訓を得ており，充実した日々を送っています。

☆これからの抱負：練馬区で初めて総合病院の歯科口腔外科を標榜させていただき，その部長として責任の重さを痛感しております。その一方で，臨床医として新たな経験をさせていただく機会を得たことに練馬歯科医師会やその他関係各位に感謝しております。

学生時代は硬式野球部に所属し，身体を鍛えました。体力には若い方々に負けない自信があります。長時間の手術にも耐えられると思っておりますので，より多くの患者さんのご紹介を切にお願いする次第です。

☆趣味：スポーツ観戦，ドライブ

☆その他：同じ歯科医師の妻は，現在日本歯科医師会理事を務めております。日常生活で粗大ごみ扱いされ，さらに仕事の上でも歯科医師会の会員として妻に牛耳られる立場で，悶々とした日々を送っています。しかし，東京の実家に単身赴任しておりリフレッシュしながら頑張っけてまいりますのでよろしくお願いたします。

ふる き ゆずる
古 木 謙

東京医科歯科大学・1988年3月卒



☆**自己紹介**：この度は貴重な誌面にご挨拶の場を設けていただきありがとうございます。

私は東京医科歯科大学で大学院を修了した後に大学の職員として数年間過ごし、その後某企業の健康センターに就職し、歯科医師として勤務して参りましたが、縁あって石神井公園で歯科医療を行う機会を得て練馬区歯科医師会に入会することになりました。

☆**趣味**：趣味は星空を眺めることで、小学校のときにジャコビニー・ツィナ彗星の観測に取り組んだことがきっかけで星空を見るのが好きになりました。

単に見るだけなら簡単なのですが、星図を片手に星をたどっていくのは存外難しく、最初は何がなんだかよくわかりませんでした。

それでも繰り返し探しているとだんだん目が慣れてきて気が付くとメジャーな星座なら一目で名前が分かるようになりました。また、星座を見ていると季節の移り変わりを感じる事ができて楽しいものです。

特に気に入っている星座はオリオン座で、四角形の中の三ツ星の下でほんやり光る星雲は冬の寒空を美しく飾ります。

オリオン座のベテルギウスは赤色超巨星で、星の一生の最終段階にある老いた星ですが、それでも0.4等級という屈指の明るさで赤い光を放ち続ける姿にはなんとなく親近感がわきます。

☆**これからの抱負**：ところでこのコーナーは「新星のページ」とのことで、私はずいぶん前に新星の時期は過ぎましたが、ベテルギウスのように最後の力を振り絞って赤く輝き、少しでも皆様のお役に立てれば幸いです。

どうぞよろしく願いいたします。

いな がわ のり ひろ
稲 川 憲 弘

明海大学歯学部・平成2年卒



☆自己紹介：平成9年に光が丘（田柄五丁目）に医）ウイスタリア
歯科クリニックを開業し、お蔭様で25年が経ちました。

☆これからの抱負：我々医療機関もCOVID-19の影響を受け、
様々な対応を迫られました。

今後とも時流に合わせて、スタッフと共に地域医療に貢献してい
かなければならないと思っております。

どうぞ宜しくお願い申し上げます。

☆趣味：ゴルフ

もり かわ しゅん じ
森 川 俊 司

神奈川歯科大学・平成4年卒



☆自己紹介：板橋区で20年開業しておりました。このたび、縁あっ
て練馬区で再開業致しました。

今後とも、宜しくお願い致します。

☆趣味：車、モータースポーツ

おか ざき あさ こ
岡 崎 麻 子

日本歯科大学・平成15年卒



☆**自己紹介**：大学時代はゴルフ部に入部しており，卒業後東京医科歯科大学の研修医を経て，3ヶ所の開業医で勉強させていただき，現在宮越歯科医院勤務しております。

☆**これからの抱負**：生まれも育ちも練馬区で，祖父，父から受け継いだ病院を守り，練馬区で頼られる歯医者さんになっていきたいと思っています。

☆**趣味**：旅行，ゴルフ，ピアノ，スポーツ観戦

☆**その他**：まだ子育て中で皆様にもご迷惑をおかけする事もあると思いますが今後ともよろしく願いいたします。

たけ もと さやか
竹 本 さやか

日本大学歯学部・平成20年卒



☆**自己紹介**：練馬区上石神井にて開業いたしました竹本さやかと申します。

卒業後は慶応義塾大学病院の歯科・口腔外科教室に入局し研修医をへて，開業した現在も週一回の勤務を続けております。

現在3人の子育て真っ最中でもあり日々追われるように過ごしておりますが，診療に育児と充実した日々でもあります。

☆**これからの抱負**：当クリニックは産婦人科医である夫とともに産婦人科と歯科の併設で開業いたしました。

主軸は産婦人科なので，産婦人科にかかられた患者さん・妊婦さんなどを中心に女性専用の歯科クリニックとして診療しております。私が開業を決意したのは，何より自分が妊娠前後に経験したことが大きく影響しています。妊娠中，悪阻がつらく切迫早産もあり妊婦健診しか出歩けない中，口腔内が心配でもありました。歯科医として口腔ケアが大切と分かっても悪阻で磨けない，歯科受診へも出歩けず，産後は怒涛の育児が始まり，案の定出産後にう蝕が見つかりました。私は妊産婦さんにとって歯科受診の

ハードルが意外にも高い状況を痛感し、産婦人科のついでに受診できる歯科があればと、少しでも女性のプライマリケアの一助になればと思います。

当院は不妊治療にも力を入れているため、妊婦さんをはじめ不妊治療中の患者さんからも歯科に関しての質問がたびたび聞かれます。デリケートな女性の気持ちに寄り添い、そんな疑問や不安にもお応えできるような、医科と歯科が連携をとれるクリニックを目指しています。

☆**趣味**：アウトドア好きな夫の影響もあり山登りやキャンプを家族で楽しんでいましたが、3人目出産後から少し足が遠のいているのでそろそろ再開したいと思うこの頃です。

歯科医師会諸先輩方のお力をお借りすることもあるかと思いますが、地域医療を担う一人として私のできることを精一杯、真摯にやっていこうと思います。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

やま だ たく や
山 田 卓 弥

九州歯科大学・平成24年卒



☆**自己紹介**：大泉学園駅近くで開業医をしております。生まれは福岡県の北九州市で大学を卒業し研修を終えるまで北九州で過ごし、東京にきました。バレーボールを20年程やってきましたが歯科医師になってからはほぼ運動をする事もなく10年が経過しました。運動不足が最近の悩みです。研修医が終了して東京ではずっと大泉学園で過ごしています。都会の雰囲気というわけでもなく、息苦しさも感じない良い場所だと感じています。

☆**これからの抱負**：東京での生活にやっと慣れてきて、練馬区で開業医をしているなら自分の診療室の外でも何かできないかと思っていました。地域の歯科活動など、積極的に関わって地域貢献をしていきたいと思っています。

☆**趣味**：10歳からバレーボールを始めて、大学を卒業するまで現役で続けていました。社会人バレーにも参加して活発に学生時代は取り組んでいましたが、歯科医師になってからは年に0～1回やるくらいで体は動かせていないので、観る専門になりました。他には九州歯科大学のすぐ隣のビリヤード場に大学時代は通い詰めていたので、それが趣

味になりました。たまにビリヤードをしています。最近そのビリヤード場のプロの方がネットで動画投稿をしているので懐かしい気持ちで見えています。

田舎から出てきたため都会のシステムがわからず苦勞することがあります。医院のスタッフにも注意を受けて初めて知ることがいまだに…なのでご迷惑おかけすることがあればそっと教えていただけると嬉しいです。

今後ともどうぞ宜しくお願い致します。



………… ブロックだより ……………

ブロックだより

江古田ブロック

江古田ブロックだより

吉 野 一 雄

最近では、新型コロナウイルスに対して以前のような緊張感は薄らぎ、その対応も落ち着いてきたと感じられます。しかし未だ終息には及ばず、新規感染者は増加傾向にあり、この原稿を書いている時点で第8波が懸念されている状態です。そのような中、十分にディスタンスを確保できる場所が見当たらず、飲食と会話が主となるブロック忘年会は中止となりました。これで3年連続です。一日でも早く皆様が安心して集まることができる日が来ることを心より願っております。

練馬ブロック

練馬ブロック昔話

古 田 裕 司

誠にもって申し訳ございませんが、2022年は練馬ブロックは活動致しませんでした。そのため、ほんの少し昔話を致します。

私が入会致しましたのが平成元年4月でした。約34年前で28歳でした。その当時のブロック会は、報告や協議をした後、「むじん」というゲームをしていました。写真はその時使っていたオセロの駒です。若者からベテランの先生まで和気あいあいと親睦していましたし、保険や税務の話などはとても勉強になりました。近隣の先生方と月に一回顔をあわせるのは大変よい事でした。

..... ブロックだより

さらに昔となりますと、聞いた話になりますが、会館に集まったらすぐにタクシーで銀座に呑みに行っていた時代もあったようです。診療終了と同時に、窓口のお金の引出を開けると、詰め込んだお札がポンと飛び出して来て、それを驚ぶかみにしてポッケに入れて、ブロック会に来ていた先生もいらっちゃったようです。昔は患者さんも多く、毎日のように朝から晩までずっと診療だったので、ブロック会はオアシスだったようです。

最近是一年に一回の忘年会を豊島園の庭の湯で行っていましたが、コロナのため暫く開催されてません。また練馬ブロックが再開される事をお祈り申し上げます。



大泉ブロック

大泉ブロックだより

生 田 剛 史

今年度の練馬区歯科医師会の新年会も予定されながら結局中止となりブロック会も開催出来ぬまま3年の月日が過ぎ去ってしまいました。みなさんお元気でしょうか？ ブロック長というよりは単なる大泉ブロックの報告係となっています生田でございます。個人的には少人数で飲みに行ったり外食したりとほぼ普通に暮らしておりますが団体での開催となると「練馬区歯科医師会でクラスター発生～!!!」なんてニュースを見たくありませんのでもうしばらく我慢というところでしょうか。

…………… ブロックだより ……………

大泉ブロックということで話題を一つ。ちょうどこのすずしろがリリースされる2023年春に放送予定のNHK連続テレビ小説「らんまん」のモデルとなる「牧野富太郎」という方をご存じですか？ 練馬区民ならだれでも知ってるよ！ と某先生に言われたのですが……すみません私、練馬区在住57年、最近はじめて知りました。日本植物分類学の父、練馬区名誉区民、牧野富太郎博士（1862～1957年）でございます。会員の皆様も大泉方面に来られた際は是非散歩がてら「練馬区立 牧野記念庭園」（大泉学駅から徒歩5分）に立ち寄られてはいかがでしょうか。ドラマも注目して頂けたらと思います。

（注目してと言っているのにたぶん「今日のわんこ」しか見ない報告係、生田剛史でした）


牧野記念庭園とは

本園は、植物学者牧野富太郎博士が大正15年からかくるまでの30余年を過ごした住居と庭の跡地です。博士は、もともと広がっていた武蔵野の雑木林の中に、採集してきたり知人から取り寄せた植物を植え、庭を「我が植物園」として大切に育んできました。そして、たびたび庭に寄り込んで、植物の観察や採集をして、庭のそばにある晩年を過ごして行きました。博士がこよなく愛した庭を一般に公開し、博士の偉業を末永く後世に伝えるため、昭和33年に公園として開園しました。

園内には、スエコザサ、サクラノシズイデ、ハナノキなど博士にゆかりの深い植物を全300種類以上の植物が生育するほか、博士の使っていた書庫が残り、博士の在りし日の姿影を今に伝えています。

牧野富太郎博士〈略歴〉

文久2 (1862) 年	4月24日 土佐高瀬陣屋(当時高瀬川)に生まれる
明治7 (1884) 年	上京し、東京大学理学部植物学教室へ出入りする
明治22 (1889) 年	日本で初めて「新報」の「少年」学芸を2回発着する
明治29 (1896) 年	東京大学理学部植物学教室へ赴く
明治33 (1900) 年	『大日本植物志』第一巻第一集発行
明治45 (1912) 年	東京帝国大学理学部植物学教室長となる
大正5 (1916) 年	『植物研究概論』を自費出版
大正15 (1926) 年	東京女子美術学校(現東京女子大学)に57名を植える(現在園の隣に東京女子美術大学記念館)
昭和2 (1927) 年	理学博士の学位を受ける
昭和3 (1928) 年	東京農工大学(現農工大学)を創立
昭和12 (1937) 年	園内に文化を愛する会を設立
昭和14 (1939) 年	東京帝国大学理学部植物学教室長を勤め47年で引退
昭和15 (1940) 年	『牧野日本植物園』発行
昭和20 (1945) 年	第一回区立植物園長となる
昭和22 (1947) 年	東京府長選挙参事となる
昭和32 (1957) 年	89歳で永眠 国葬に出席(「東京毎日」東京日本文化財団が国葬を計画)



練馬区立牧野記念庭園 入園無料


牧野記念庭園は、牧野博士が大正15 (1926) 年から亡くなるまでの30余年を過ごした住居と庭の跡地で、昭和33 (1958) 年に開園しました。スエコザサ、サクラ「仙台庭」など博士にゆかりの深いものを含め、300種類以上の植物が生育しています。

【施設概要】
所在地 練馬区東大泉 6-34-4
開園時間 午前9時～午後5時
休園日 毎週火曜日
(火曜日が祝日である場合は、その直後の休休日でない日)、年末年始 (12月29日～1月3日)
電話 03-6904-6403
(※障害者用駐車場 (1台) があります。事前にご予約ください。)

【牧野富太郎博士 関連施設】

高知県立牧野植物園
牧野博士が生まれた高知県には、県立牧野植物園があります。起伏を生かした約8haの園地には、博士ゆかりの野生植物など3,000種類以上が四季を彩り、自然の中で様々な植物に出会えます。

東京都立大学 牧野標本館
牧野標本館は、牧野博士が採集された植物標本を中心に、藻類・コケ・シダ・裸子・被子植物など約50万点の標本を所蔵しています。



関・上石神井ブロック

関・上石神井ブロックだより

大川内 誠

令和4年11月中旬、立冬も過ぎた頃ですが、寒さは控えめでやや暖かくもあり、皆様お元気に過ごされていることと存じます。

今年の年末は自粛ムードが漸く緩んできたみたいで、90歳近いお婆さんが、「11月後半から12月は色々と忘年会が立て込んで、新しい入れ歯の調整に何回も通えないのよ！」

..... ブロックだより
と元気に仰っていました。自分の治療技術への完全なる敗北感を味わいました。

一方で、ん？ ご高齢の方々が忘年会？・・・だんだんコロナ前の状態に戻り始めてきた感があります。

もう少しで皆様と色々なお話や美味しい食事、美酒に酔えるブロック会が開けると思っています。その日を楽しみにしております。

どうぞくれぐれもお体に気を付けてお過ごしくださいませ。

北町ブロック

練馬区北町ブロック会

佐久間 栄

練馬区歯科医師会 北町ブロック会のブロック長をコロナ禍の真っ最中、昨年到大木浩先生より引き継ぐことになりました佐久間 栄です。

どうぞよろしく願いいたします。



…………… ブロックだより ……………

コロナの影響で就任以来、1度も参集することもなく LINE のグループでのご挨拶とブロック会開催に向けてのご説明と状況把握程度の活動しかしていないのが現状で、主だったブロック会の活動はない状態です。

しばらくブロックの先生達ともお会いしておらず、歯科医師会の Zoom 研修でお見かけする程度だったり、また数人の先生が歯科医師会に加入していますので親睦を図りたいのですが実現はしていません。

今後、コロナの状況を鑑みて参集によるブロック会復活に向けて準備中です。



同好会だより

釣り部

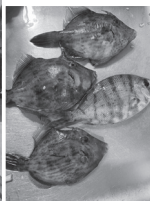
釣り部会報告

安 齋 聡

今年こそは！と釣り部会主催のイベントを模索しておりましたが、なかなかタイミングを見つけることができず世の情勢を見守る中、東京都歯科医師会厚生文化部魚釣会主催の釣り大会のお知らせが届き、十分な感染対策をとっての開催とのことですので当会の森田先生、漆原先生と私で参加してきました。「カワハギ釣り大会」とのこと、実は私はこのコロナ時勢で釣りを始めた新参者、しかも教えていただいたのは船の上からルアーをジャカジャカ引っ張るもので餌づくりのカワハギは初めての参加となり、森田先生から丁寧なご指導をいただきましたが結果は厳しく・・・ベテラン勢の先生方がポンポン釣る中、私が釣れるのは河豚とベラが中心になりました。

ルアー釣りと全然違って非常に繊細、釣果は今ひとつとなりましたが楽しい1日を過ごさせていただきました。

来年度はぜひ、当釣り部会のイベントを再開させていただき、皆さんと一緒に釣れる喜びを楽しみたいです。



ゴルフ部だより

西 條 且 津

昨年度からゴルフ部部長を拝命致しましたが紅1点のしかも高齢者の私が指名されるとは思いもよらなかったです。細々したことは僕等がやるのでとの泊先生の口車に乗せられお飾りのように座っています。

何せちやほやされながらのラウンドで、ドラコンは当然ながらレギュラーティーとレディースティーの差がありビシッと当たれば取れてしまうのです(笑)。しかしこれが力んでしまうとあらぬ方向へ飛んでしまいガックリという時も多いです。だからドラコンホールの選定は重要なんです、その権限があるのでニヤニヤしてます。

本年度は順調に5月、7月、9月、12月、3月とコンペを開催でき、池田先生のホールインワンも出て賑わいました。厳しいコロナ禍ではありますが自分の打ったボールが芯を喰って大空に飛び出す爽快感はたまらないです。気分転換と草の上を歩く運動、仲間との会話は楽しいです。

是非ゴルフ部に参加してみてください。



NDHC（競馬研究会）

NDHC（競馬研究会）活動？報告

浅田博之

令和4年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、殆ど活動の出来ない1年になってしまいました。

普段の研究会は

大阪杯 開催 皐月賞 開催 天皇賞春 中止 ダービー 開催 宝塚記念 開催
菊花賞 開催 天皇賞秋 中止 ジャパンカップ 開催 有馬記念 中止
と、6回開催、3回中止という状況でした。（令和2・3年よりはましですが）

毎年実施している遠征も3年連続でできませんでした。JRAが、夏の時点では、指定席予約を2名制限にしている状況で全員の座席確保ができない為です。

秋になり、4名指定席が取れるようになったので10月10日に東京競馬場には4名で行くことはできました。

令和5年は、3年ぶりに、京都競馬場がリニューアルオープンします。5月20日・21日には遠征を実施する予定で計画を立てています。



すずしろ特集

仕事は楽しく～スポーツ歯科の現場から～



日 下 崇

今回すずしろ特集の依頼がありましたので、恐縮ながら寄稿させていただきます。

当院では予防歯科を軸に臨床を行っていますが、もう一つ力を入れていることがあります。それがスポーツ歯科です。

スポーツ歯科では主にスポーツマウスガードの製作を行っているのですが、これは私自身が総合格闘技とブラジリアン柔術というスポーツに長年関わってきたことが大きく関係しています。

総合格闘技は近年ではたまに地上波でも放送されるようになり、以前よりはだいぶ市民権を得るようになりました。イベント名では以前はプライド、最近ではライジンなどが知名度があります。世界的にはレベル、ファイトマネーの内容から UFC が最高峰の団体ですが、アジアを中心に盛り上がっている ONE チャンピオンシップなども SNS などで多く拡散されファッションや音楽ともコラボして若者文化として広く認知されています。

私自身も和術慧舟會（現在は解散）という団体に所属していたため、現在引退して格闘技道場を開業し指導者となった元チームメイトの生徒さんのマウスガード製作などで関わらせていただいています。

ブラジリアン柔術というのは寝技中心の柔道のようなもので、かつてグレイシー柔術（ブラジリアン柔術の一派）が UFC（アルティメット・ファイティング・チャンピオンシップ）でその技術がなんでもあり（目つき・噛みつきのみ反則）のルールで無敗を誇り認知度を上げたことから、総合格闘技に大きく関係するようになりました。

現在は私は総合格闘技から離れブラジリアン柔術の道場に所属しております。打撃がないことも有り健康維持のため無理のない範囲で楽しんでいます。打撃がないといってもマウスガードは装着します。打撃競技では防御が前提ですが、組技など防御の前提のない競技ほど事故とは予期せぬタイミングで生じるものなので、全てのコンタクト競技でマウス

||||||| すずしろ特集 |||||||

ガードは必須といえるからです。

一般歯科を生業としていても、そこに少しだけ利益度外視でも自分の興味ある文化を関係させることで、さらに仕事に張りが出るのではないのでしょうか。

歯科という仕事は常に緊張感があり多少なりともストレスが生じますが、やはり仕事は楽しくしたいものです。



春を待つ



治田昌彦

2020年1月に日本国内で第1例の新型コロナ感染が確認されてから3年。2022年は累計感染者数が日本人の6人に1人、都内では4人に1人となり戦々恐々の日々にも慣れて来てしまった感があります。

外出は必要最低限に留め、歯科医師会の集まりもほとんどが中止となりZOOMも使い慣れて来ました。

でも2023年には遠慮なく外出や旅行ができる様になると信じています。

私が旅行先の候補にしたいのは沖縄石垣島か、北海道道北かな。

ご無沙汰が長いのは北海道なので、ゆったりした流れに毛鉤を浮かべる事を夢見て何本か巻いてみました。

最近、目も悪くなる一方なので大きめの物を中心に巻きましたが、老眼には厳しい作業となりました。

この毛鉤達をお魚さんが気に入ってくれると嬉しいのですが…。



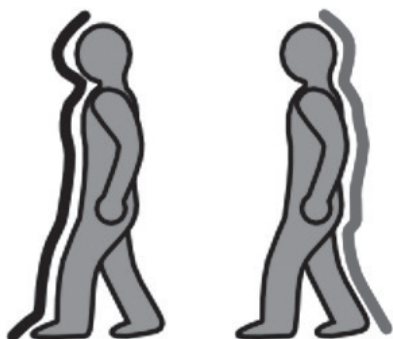
「私が楽しみにしていること」



大川内 誠

普段の生活を送る中で、あ～でもない、こ～でもないと楽しんでいる稽古があります。以前より稽古会に通っているのですが、体の使い方、意識の仕方を変えることにより、手足や肩、股関節の動きが、羽の生えたように軽く動かせるようになってきました。

行っていることは、カラダの余計な力を抜く稽古。ある程度力を抜けるようになったら体の使い方や意識の稽古です。例えば、



「身体の前側を意識するか後ろ側を意識するかで歩く時の感覚は全く違う」

この違いを感じられた時、「え！こんなに違うの！」と目から鱗が落ちる思いをしました。後ろから背中を押してもらっているみたいに楽に歩けるのです。これを感じられるようになってから、私の右肩甲骨周り、深い所の1点だけ筋肉のコリが長年取れずに残っていたのですがそれが取れたのです。コリが出たとしても1～2日で消退しているみたいです。

そのような稽古を続けていると、武術的な話になりますが、相手の出す強い力とは関係なく私の丹田から出す小さな力を相手に伝え崩すという、不思議な現象が出来るようになってきました。他にもこのような現象が多々あります。

何故こんな現象が起きるのか不思議でしょうがありません。

でも、「そういうものだよね～」と先生や師範クラスの人たちは言われます。「出来たと

きに解るものだよ」ともよく言われます。確かに口で説明するのは困難な内容だと思います。

ん～まだまだ他にも沢山あり会得しきれません。



そんな不思議な現象のおかげで、普段の生活を送る中、あ～でもない、こ～でもないと日々模索しながら稽古を楽しんでおります。

以上となります。ありがとうございました。



「僕のスポーツクラブ・ライフ」



児 玉 憲 司

コロナ禍の昨今、行きたい所へも行けずやりたいことも出来ず、皆さんは運動不足じゃないですか？

僕は20年程前からスポーツクラブに通っています。学生時代にテニスをやっていたので続けたかったのですが、練馬区にはコートは沢山ある割には僕にとって使い勝手の良い所が見つからず、スポーツクラブにでも入って体を動かすだけでもと思っていましたが近辺にありませんでした。それが、少し前から某所でスカッシュを始めてましたので、練馬高野台の駅近にスカッシュコートのあるスポーツクラブが出来るといのでラッキーでした。スカッシュ（壁球）はゴルフボール大のゴムボールを2人で打ち合うスポーツで、コートは4面壁に囲まれおり、運動量もそこそこあります。壁に囲まれているのでボールの飛ぶ範囲が限られるため、適当に打っても楽しめますし、競技志向の相手とガチ勝負するのもキツイですがかなり面白いです。

スポーツクラブに通っていると、だんだんと友人が増えてきて、夜もアクティブな輩がよくも集まったもので、呑みに行くカラオケに行くなんていうのはほぼ毎週。ご近所の方が多いので車で拾ってもらい連れだってゴルフに行った帰りは、やっぱり呑み会になるのはお決まりのコースですね。中国の方もいらしたので餃子パーティーもよくやりましたね。中国では家事分担をするのは当たり前のようなので、ご主人が前日に大量の餃子の餡を仕込んでおいてくれて、当日に皆んなで手分けして餃子を200個位包むことになりました。まあ、包み方も個性が出るもので不揃いもいいところ、茹でている間に破裂してしまうこともご愛嬌です。もちろん犯人探しをして責任を取って自分で食べて貰うことになります。ただ、年月が経つにつれ今はもうこのグループも、転居したり定年退職したりでクラブをやめてしまい、バラバラになって少なくなり寂しくなっていました。

でもそこはめげずに、千歳船橋の系列店へ遠征へと。ここでは、試合によくエントリーするような競技志向の強い輩が多くて鍛えられました。練習といってもカウントこそ取り

ませんが試合形式でやるので気が抜けません。一度、永遠のライバルのうちの一人と50分程打ち続けてガチンコ勝負したことがあって、二人とも死にかけました。相手は息が上がってボールとラケットを持って膝に手を突いたまま、呼んでも暫くコートから出てこず。僕の方はコートからは出たものの脈拍がいつものようにすんなりとは下がらず、目の前が一瞬半分白くなってきて、危なかった～。意地を張り合うのは止しましょうね。

この千歳船橋の連中も夜も元気なのですよ。呑み会となると多い時で40数名が集まる大所帯なので、知り合いの一軒屋の居酒屋を貸切ったり、元メンバーのドッグカフェで週を変えて2回に分けてやったりして工夫しないと。世話役は大変です。飲み放題用のワインを飲み尽くして中締めの声が掛かっても、ワインを追加して飲んでいるテーブルがあったり。とにかく終電など気にしてたらつまらないので、タクシーで帰るのが前提で覚悟して呑むことになります。これも大人同士の付き合いということになりますか。残念なことに、建物の取り壊しでここは閉店になり、それぞれ違うコートに行くようになってしまいました。一昨年、高野台店も運営会社の都合で閉店。

それでもめげませんよ。それからは東久留米の系列店へ。以前から少し行っていたので知り合いも居て、千歳船橋と同様に気心が知れない関係の大人の対応をしてくれるので気が楽で楽で。こちらは選手権大会にエントリーするかなりの手練れも居るのでなかなか手強いですが、遊んでもらうつもりなら面白いですよ。たまに逆襲したりして。まあ、ここに来てそこそこ場に馴染んできましたかね。

高野台店が閉店しても近所で関係が続いている人達の職種は様々で、診療所の引っ越しの時に軽トラを出して貰ったり、余計な物をミニバンで自宅へ運んでくれたり、段ボール箱の処分を引き受けてくれたりと有り難いことです。暮れに殺菌灯のソケットが壊れた時も、忙しい時期なのにすぐに直してくれて助かりました。持つべきものは近所の友人ですね。

まだコロナが収束に向かうかどうかという状況なので、クラブにはパッと行ってパッと帰るといふふうにして感染のリスクを減らすようにしてると、スポーツクラブに行ってるのにストレスが残るといのは何とも・・・。すずしろが手元に届く頃にはコートの側のベンチでコロナの心配もせずに、マスクなしで気兼ねなくワイワイガヤガヤ出来る日が来ると良いですよ。

開業の傍ら出した私のチョコカイ



神谷文彦

■ボランティア活動：日本点字図書館のためのチャリティコンサート開催にあたり26年間実行委員長を務める。

日本点字図書館の改築のために何かをしたいと診療所の玄関の向かいにある喫茶店で声をかけられた。点字図書館で朗読奉仕をしていたおばちゃんに食い下がられてアイデアを出す羽目になった。おばちゃんの仲間達は皆クラシック音楽愛好者と聞き、クラシックコンサートを開催し、収益金を寄付すれば…とアドバイスし、私は参画しなかった。が途中で挫折し、また挑戦したい“手伝って”と云われ、条件付きでOKした。その条件とは①私の指示には絶対服従②事の決定権を私に与えると云うものであった。第一回はヨセフ・モルナール（日本におけるハープ始祖）氏。点字図書館の創始者本間氏を徹子の部屋に出演させ、モーニングショーに演奏家を出演させるべくテレビ朝日に手を打ち実現させた。黒柳さんは朗読奉仕をしていたこともあり、盛り上がり過ぎてコンサートの宣伝を忘れてしまった。“ごめんなさい”で成果なしとなった。強力な支援者に朝日新聞記者、ボランティア（元増原防衛長官の娘さん）の主人に丸井本店長（元国鉄フライヤーズのセカンド）S氏がおり、パンフレットの広告の確保に協力、更にテレビ朝日の某実力者（この方が関わっていると云うことで、中曽根さんも毎回10枚買ってくれた）が何でもしてくれる。第一回の際は、中曽根さんの名で現金書留が私に届いた、不在のため2度配達された。総理大臣からの書留故2度配達したようで



ある。

コンサートの開催にあたっては、会場の確保には、都議奥山則夫氏が上野の東京文化会館に働きかけ、自由にこちらの日程で確保出来た。朝日新聞には記事として何度も掲載された。記者達曰く“悪いことしないで名前が載った国民の中で私が一番多い”と。10回記念、20回記念はNHKホールを満員にし、黒柳徹子さんが司会を引き受けてくれた。26回目の時、点字図書館理事会の方針が受け容れ難く手を退いた。30回までの企画が出来ていたが…無念であった。私は音楽に無縁で、ホール内の席で聴いたことは一度もなかった。日々“あれは長くてイケネエ”なんて云っている身故。

※10回記念では、佐藤しのぶ（ソプラノ）、羽田健太郎（ピアノ）、吉野直子（ハープ）、江藤俊哉（ヴァイオリン）、岡村喬生（バス）、新ヴィバルディ合奏団（早川正昭指揮）が出演協力してくれた。

※20回記念コンサートでは、塩田美奈子（ソプラノ、佐藤しのぶさんはスケジューラー杯）、梯剛之（全盲のピアニスト）、堤剛（チェロ）、前橋汀子（ヴァイオリン）、岡村喬生（バス）、東京交響楽団（秋山和慶指揮）。中村ひろこさんが共演の女性ヴァイオリン奏者がお気に召さなかったのか辞退して来た。後日単独でチャリティコンサートを行い、400萬の収益金を寄付して頂いた。美人同志はまずかったようなのだ。共にNHK大ホールにて、黒柳徹子さんの司会のもと行われた。

■ゴスペルチーム団員の急病を診てくれたDr山本へのお礼の意も含めてM音楽事務所社長の好意で慰問コンサートを東京臨海病院（院長山本保博、元日本医大救急救命センター長）にて行ったことがある。二度目はスティーブガット（ドラマー）の演奏も好評だった。お礼にガット氏に日本画を2点プレゼントした。“ビューティフル!!!”と喜んでくれた。



■携帯用バキュームの開発（東京技研の技術者を呼び提案）⇒：朝日新聞に手配して記事となる。東京技研の社史に掲載する旨了解を取りに、会長が私を訪ねて来た。業界第一号のこの機器は石神井、練馬両保健所に2台寄付（奥山都議後援会主催チャリティゴルフ大会の）したが、保健所スタッフの要望で対応して成したことであったが、一度も使われずの有様で、つつじ歯科が設置された際、保健所から引きあげた。※保健所スタッフの依頼で彼らに講演した時、訪問看護で嗽処理が出来る器械があれば、歯も磨いてや

自由投稿

れると要望された。やる気もないくせにと思いつつイジワルしてやれっと開発した。練馬区長室にて機器の説明をしている光景。

■ドクタージャックスと云う小児用の歯ブラシがあった。

ビーブランド社の商品で、使用されている繊維が他の歯ブラシより上質のもので、“モチ”も良い。ある時所沢から通院している患者さんが、“大人用も売ってますよ”と買って来てくれた。変に思い、ビーブランド社に現物を送った所、成人用を製作市販することになっており、早速調査し、下請けが無断でやっていたことが判り措置したと云う連絡があり、今後先生のご要望（歯ブラ



朝日新聞に掲載

シ無償提供)に協力させていただきます…と云うことになった。がこの“ウシロダテ”は受け継がれなかった。無償提供を得られる道を見捨てて有料のL社の歯ブラシを採用する心根が理解出来ない。K社は要望に応じますと云っていた。細首タイプの形の特許を採用するまで気が回らなかったとのこと。区民祭に使う物が無い、先生何とかならないかと、T事務長に頼まれ“お口クチュクチュリストリン”大瓶を千本会館に届けさせたこともあった。

■胃カメラ検査時使用マウスピース（無菌顎状態用）

PL健康管理センターに毎年ドック入りしていた時、内科医に依頼されて手がけた件である。

実用新案特許を申請し公開したが、特許取得処理をせず。

⇒義歯が転覆するので従来のマウスピースが使えず、苦勞している“何とかならないか”と云うドックの医師に相談されて発案した。固定のため噛むスペースを小白歯まで延長する設計をしてクリア（固定にイソコンパウンドの活用）。

■ODA事業開始以来初めての歯科の案件（大プロジェクト：スリランカ国立歯科大学の再建から学術プログラムまで）の予算化

当事業が予算化成ったキッカケは、外務省無償援助課課長の可能性ゼロ回答に対し、“来年はWHO国際口腔保健年スタートの年、記念事業として如何か”と云う私の一言で、その場で“やりましょう”課長の姿勢が一変して実行が決定したのである。が日本歯科医師会はこれを仕切ることに乗らなかった。

※細川執行部の下で、ODA担当となった鮫島衆議院議員の要請（支援者武蔵校OB会の練歯会員故高橋篤生氏）を受けて私に作成させた“ODAの案件に歯科保健医療を”企画書を鮫島氏が外務省無償援助課に提出した結果、会うことになり、議員会館に向いた時、丁度珍しいことがありましたと、”スリランカからの援助要請”があったばかりだと紹介されたが、予算化はNoであった。スリランカの無償援助申請をした仕掛け人は伊藤忠商社（モリタの筆頭株主）であることは、スリランカに詳しい鶴巻氏（元FDI会長）に聞いたところ判ったことである。モリタ製品で埋め尽くされていることは云うまでもない。東京技研にも儲けさせて貰いましたと感謝された。

※予算化NoをYesにした私の説得：来年は国際口腔保健年（WHO）スタートの年、記念事業として実行されては如何？ の一言であった。

■ブラッシングで”ローリング法：清掃効果の無い”を葬った仕掛け人は私である。L,K社を呼び指示（日歯広報委員対外PR担当の立場にて）。両企業の対応は”ローリング”と云う文言の使用を止めて国民の頭から消えるのを待つと云うものであった。以後TVのコマーシャル変わりつ、戻りつしながらであった。30余年経つ現在は”ローリング法”は消えた。

■地域活動：再開発事業対策会、地下鉄建設問題対策会をリードする。

自治体研究社の主催する勉強会・合宿（区画整理対策全国連絡協議会）に参加し勉強した。詐欺とも云える事業に対抗し、区が進める練馬駅周辺の再開発事業を封じ込んだ。市街地再開発は立体的区画整理であり、原理は同じである。地下鉄12号線の大泉延伸が未だに成されない因は用地確保に区画整理法を適用したからである。

※新築時より時の経過と共に価値を減ずる建築物と時の経過と共に価値を増す土地の価値を＝で結ぶ：等価交換方式⇒次元の異なる二者の間で数式は成り立たない。また開発後の土地の資産価値の増加は参画した地権者（含む、借地権者）、に帰属すべきで、仕掛けた自治体に帰属するものではない。

開発後、地価が倍になる故、土地が半分になっても同じだなんて云う屁理屈を平然と並べ、差し出せる土地が無い者には事業終了後に、その分“金”で清算せよと云うことになる。この“清算”について具体的説明を絶対しない形を採る⇒結果的に詐欺行為と云えるのだ。

■練馬一の問題中学校のツッパリ対策、暴走族（みなごろし）対策野球チームを作らせ“走り”をやめさせようと駐在さんがボーナスを投げようとしている話を聞き参画し

~~~~~自由投稿~~~~~

て、私の負担でユニホーム、野球道具を揃えた。名称を地球防衛軍にと彼らが希望し、日の丸もつけろと、地球防衛軍を了承し、日の丸は退けた。そして⇒チーム名はUNDAとかわした。みなごろし（金偏に鹿と描き、鹿の下にヒを加えた作字）下赤塚と対戦した。何度か試合を設営したが、彼らには自分たちでやろうと云う気がなく、後輩への伝承精神も無かった。“イイ所”なしとササヤカナ私の期待が裏切られる結果となった。

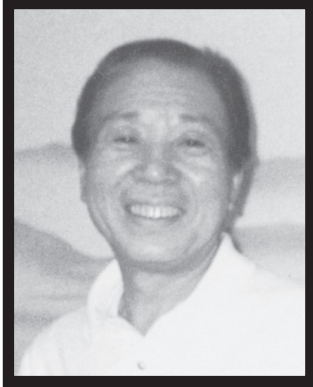
■石神井川の氾濫による水害の問題で、豪雨時、警戒に行く駐在さんに付いて現場に行き、護岸工事のミスを発見し、練馬警察を通して区に進言するようにした。しばらくして再工事が行われ、以後氾濫は無くなった。一ヶ所狭くなっていた為、その地点で水位が上がって氾濫したのである。区に対応が無ければ新聞で扱わせるつもりであったが。被害者による損害賠償問題は無かった。気が付かなかったのかな???

■某老人ホーム経営者の要請（練馬区役所のささやき：高松に歯医者さんで地域活動家がいると）で、独居老人の緊急通報システムの開発を手伝う。システムの試験で、協力してくれる独居老人を20名確保して欲しいと頼まれた。手配は駐在さんがしてくれた。日々の巡回で独居老人宅を訪問していることを聞いていたので、容易に対処出来た訳である。この老人ホームの創始者は女性で、有料老人ホームの先駆者と云われている。頼まれて訪問診療を行っているうちに、訪問診療制度が始まり、多くの対象者がいたので、助成金をずいぶん頂いた。

■全国母子歯科保健協議会の取材担当をしている時、当会の委員が偶然新患で来た。日本保育協会の所長河合月海氏であることを確認し、付き合いが始まった。機関紙保育界への投稿も依頼された。練馬での子育て教室開催を手伝い、講師にもさせられた。が体調が悪そうなので検査を勧めた所“癌性腹膜炎：余命3ヶ月”と告知された。告知後一週間経った頃、見舞いに行ったが、如何接して良いか…病室に入り、即“先生っ3ヶ月なんだって聞きました”“そうなんです、気を落ちつかせるのに一週間もかかりました、坊主でありながらお恥ずかしい…”“何か本などの原稿まとめたりすることがありましたら、手伝います”“最初はそう思いましたが、もう力が入らなくやめにしました。所でお願いがあるのですが…”⇒日本保育協会を継いでくれないかと頼まれたのである。365日中300日は講演依頼で全国を飛び回っている方で、話術は芸の域、荷があまりにも重く断った。



## 川島健次郎先生を偲んで



郷 家 英 二

令和4年2月川島健次郎先生の訃報を受けました。お世話になった先生のご逝去は大変寂しく残念でなりません。

私が入会して間もない右も左もわからない頃、同窓の集まりではいつもにこやかに優しくお声掛けして頂き、大先輩である先生に初めは緊張しましたが、気さくな先生の人柄にふれてとても安心したことを思い出します。先生の優しいお顔

が偲ばれます。

川島先生は、昭和4年群馬県邑楽郡千代田町でお生まれになり、昭和29年に日本大学歯学部をご卒業され、昭和33年に練馬区関町にご開業されました。先生は練馬区歯科医師会や練馬区学校歯科医会において長年にわたり多くの役職をされ会員のためにご活躍されました。そして練馬区立関町小学校の学校歯科医として39年間児童の健康を守るためにご尽力されました。その長年の功績により練馬区民表彰、東京都教育委員会表彰、東京都学校歯科医会30年勤続表彰、東京都知事表彰、日本学校歯科医会会長表彰、そして2003年には文部科学大臣表彰を受賞されました。

心よりご冥福をお祈り申し上げます。





## 小池將浩先生

### 略 歴

#### 入 会 日

昭和30年 5月 1日

#### 出 身 校

東京歯科大学

#### 役 職

昭和32年 4月～昭和36年 3月 健康保険整備委員（保険整備委員）  
昭和32年 4月～昭和40年 3月 厚生文化委員（厚生文化部委員）  
昭和36年 4月～昭和38年 3月 会計部・保険部（国保）理事  
昭和36年 4月～昭和38年 3月 本会福祉共済部委員  
昭和38年 4月～昭和46年 3月 保険整備委員  
昭和40年 4月～昭和48年 3月 財産管理委員  
昭和39年 4月～昭和46年 3月 苦情処理委員  
昭和42年 4月～昭和50年 3月 練学歯学術委員  
昭和46年 4月～昭和52年 3月 公衆衛生委員  
昭和50年 4月～昭和56年 3月 練学歯学術理事  
昭和52年 4月～昭和54年 3月 会館管理・医事処理・会報理事  
昭和52年 4月～昭和54年 3月 本会福祉共済部委員  
昭和52年 4月～昭和54年 3月 練馬区学校保健会副会長  
昭和54年 4月～昭和56年 3月 練馬区学校保健会理事  
昭和54年 4月～昭和62年 3月 財産管理委員  
昭和54年 4月～昭和56年 3月 会報委員  
昭和58年 4月～昭和62年 3月 公衆衛生委員  
昭和62年 4月～平成 3年 3月 医療管理委員  
平成 5年 4月～平成 9年 3月 福祉共済制度検討委員  
平成11年 4月～平成13年 3月 会館管理特別委員  
平成13年 4月～平成15年 3月 選挙管理委員

学 校 医 旭町小学校 昭和32年 4月 1日～平成18年 3月31日  
北町保育園 平成 1年 4月 1日～平成23年 3月31日



## 増田 厚先生

### 略 歴

#### 入 会 日

昭和32年

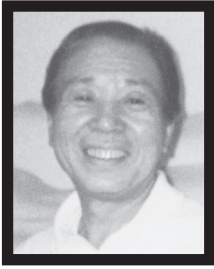
#### 出 身 校

日本歯科大学

#### 役 職

昭和54年 4月～昭和58年 3月 医療管理委員  
昭和58年 4月～昭和60年 3月 会計理事  
平成 1年 4月～平成 3年 3月 政治連盟専務理事

学 校 医 光が丘むらさき幼稚園 昭和61年 4月 1日～平成23年 3月31日



## 川島健次郎先生

### 略 歴

#### 入 会 日

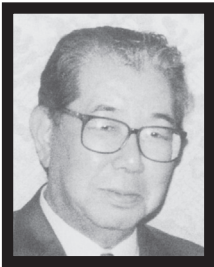
昭和33年 8月 1日

#### 出 身 校

日本大学

#### 役 職

昭和38年 4月～昭和48年 3月 保険（保健）整備委員  
昭和42年 4月～昭和48年 3月 図書室委員  
昭和46年 4月～昭和48年 3月 都歯連盟練馬支部幹事（渉外）  
昭和48年 4月～昭和50年 3月 庶務理事  
昭和50年 4月～昭和52年 3月 監事  
昭和48年 4月～昭和50年 3月 本会福祉共済部理事  
昭和50年 4月～昭和52年 3月 本会福祉共済部監事  
昭和52年 4月～昭和54年 3月 税務委員  
昭和54年 4月～昭和56年 3月 医療管理委員  
昭和54年 4月～昭和60年 3月 練学歯学術委員  
昭和56年 4月～昭和58年 3月 休日診療委員  
昭和56年 4月～昭和58年 3月 都歯連盟練馬支部副支部長  
昭和58年 4月～昭和62年 3月 医療管理委員  
昭和60年 4月～昭和62年 3月 練学歯渉外理事  
昭和62年 4月～平成 1年 3月 監事  
昭和62年 4月～平成 1年 3月 練学歯学術理事  
平成 1年 4月～平成11年 3月 練学歯監事  
平成 3年 4月～平成11年 3月 選挙管理委員  
学 校 医 関町小学校 昭和39年 4月 1日～平成15年 3月 31日



## 山本一郎先生

### 略 歴

#### 入 会 日

昭和40年 2月 6日

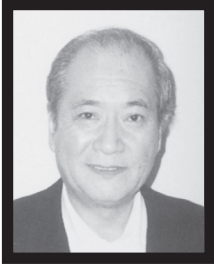
#### 出 身 校

日本歯科医学専門学校

#### 役 職

昭和44年 4月～昭和46年 3月 庶務（専務）理事  
昭和46年 4月～昭和48年 3月 本会福祉共済部理事  
昭和46年 4月～昭和48年 3月 練馬区国保運営協議会委員  
昭和46年 4月～昭和48年 3月 専務理事  
昭和48年 4月～平成 1年 3月 会務研究委員  
昭和48年 4月～昭和50年 3月 本会福祉共済部委員  
昭和48年 4月～昭和54年 3月 税務委員  
昭和54年 4月～昭和56年 3月 休日診療委員  
昭和56年 4月～昭和58年 3月 都歯連盟練馬支部支部長  
昭和58年 4月～昭和60年 3月 財産管理委員

平成1年4月～平成3年3月 会館管理特別委員  
平成3年4月～平成7年3月 会長  
平成3年4月～平成7年3月 本会福祉共済部理事長  
平成3年4月～平成7年3月 練馬区保健医療問題協議会委員  
平成7年4月～平成9年3月 予算決算特別委員  
平成9年4月～平成17年3月 本会警察協力医会顧問



## 清水善幸先生

略 歴

入 会 日

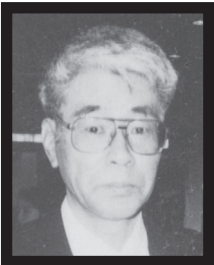
昭和41年4月1日

出 身 校

日本歯科大学

役 職

昭和42年4月～昭和48年3月 保険整備委員



## 平野 功先生

略 歴

入 会 日

昭和45年6月22日

出 身 校

東京医科歯科大学

役 職

昭和48年4月～昭和50年3月 都歯連盟練馬支部幹事（渉外）  
昭和50年4月～昭和56年3月 保険整備委員  
昭和50年4月～昭和52年3月 都歯連盟練馬支部幹事（会計）  
昭和56年4月～昭和58年3月 学術理事  
昭和56年4月～昭和58年3月 本会福祉共済部委員  
昭和58年4月～昭和60年3月 医療管理委員  
昭和60年4月～昭和62年3月 税務委員  
昭和60年4月～平成1年3月 心障児対策委員  
昭和62年4月～平成3年3月 口腔保健センター検討委員  
平成1年4月～平成3年3月 地域医療対策委員  
平成3年4月～平成7年3月 地域医療理事  
平成3年4月～平成7年3月 本会福祉共済部理事  
平成3年4月～平成7年3月 練馬区健康づくり推進会議委員  
平成7年4月～平成9年3月 高齢者訪問診療委員  
平成7年4月～平成9年3月 つつじ歯科診療所対策委員  
平成9年4月～平成11年3月 会報・医療管理・厚生文化・税務理事  
平成11年4月～平成15年3月 予算決算特別委員  
平成11年4月～平成23年3月 税務委員

学 校 医 南が丘小学校 昭和62年4月1日～平成17年3月31日



## 塩澤 力先生

### 略 歴

#### 入 会 日

昭和51年11月24日

#### 出 身 校

日本歯科大学

#### 役 職

昭和58年4月～昭和60年3月 都歯連盟練馬支部幹事（渉外）

昭和60年4月～昭和62年3月 会計理事

昭和60年4月～昭和62年3月 本会福祉共済部委員

昭和62年4月～平成3年3月 医療管理委員

平成13年4月～平成15年3月 会館管理特別委員

平成15年4月～平成21年3月 選挙管理委員

学 校 医 光が丘第四中学校 昭和59年4月1日～平成25年3月31日

◆謹んでご冥福をお祈りいたします。

---

---

## 編 集 後 記

---

---

今年度もお世話になった多くの先生方がお亡くなりになりましたが、コロナ禍で葬儀にも行けず寂しい限りです。バックナンバーをスキャンしていると懐かしさがこみ上げてきます。我々のヒーローだったアントニオ猪木も他界し昭和がさらに遠い時代になりました。合掌

(R. A)

各活動がままならない中、原稿を書いてくださった先生方ありがとうございました。又、広報委員の先輩先生方、今年も優しく接して下さりありがとうございました。

(C. I)

広報委員会、IT化に戸惑いがありご迷惑をおかけしましたが、すずしろの編集に関わって良い経験をさせていただきました。

(N. F)

すずしろに原稿を寄せていただきありがとうございました。

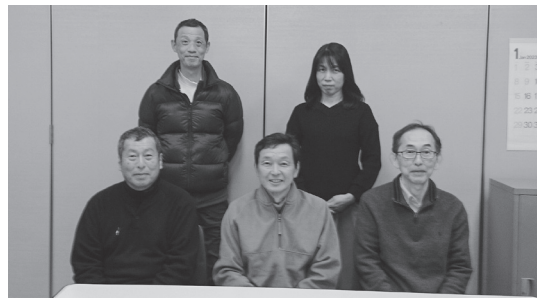
(Y. H)

コロナ禍の中、すずしろでは原稿依頼と受取をメールのみにしたり、過去のすずしろをPDF化したりとデジタル化が進みました。

私も、診療時間を短縮し、夜、中村南スポーツ交流センターに通えるようになり減量に成功してスリム化が進みました。

(T. A)





**編集委員**

濱田善之  
藤山直  
委員長 赤津敏夫  
副委員長 磯田千恵  
担当理事 浅見律

---

**すずしろ No.78**

発行日 令和5年3月25日

発行所 公益社団法人練馬区歯科医師会  
東京都練馬区豊玉北6-5-13

TEL 03 (3557) 0045(代)

FAX 03 (3557) 3553

E-mail:nda@vesta.ocn.ne.jp

<http://www.nerimaku-shikaishikai.or.jp/>

発行責任者 浅見 律

印刷所 一世印刷株式会社  
東京都新宿区下落合2-6-22

TEL 03 (3952) 5651

FAX 03 (3953) 7751

---

# 公益社団法人 練馬区歯科医師会 会員の皆さま

大切なご家族とクリニックをお守りし

安心して診療できるようお手伝いさせていただきます。

歯科医師のリスク対策に特化して最大限メリットを活用した「団体保険」を中心に  
ご案内しております。ぜひ、福利厚生充実にお役立てください。

## 東京都歯科医師会 団体歯科医師賠償責任保険

基本  
プラン

医師賠償責任保険

医療施設賠償責任保険

豊富な  
オプション

医療機関用団体サイバー保険  
(情報漏えい限定プラン)

勤務医包括担保

医療従事者  
賠償責任保険

etc.



近年、医療機関を標的とした、ランサムウェアをはじめとしたサイバー攻撃による被害が増加しています。医療機関のシステムが感染すると電子システム等が利用できなくなり、診療への支障や患者の個人情報などが窃取されたりするなどの被害をもたらす可能性があります。

情報漏えい等の事故発生の場合、早期発見・早期対処が極めて重要です。保険会社の持つ緊急時のサポートサービスを活用することで、有事における負担の軽減を図ることもできます。

詳細のご説明、お問い合わせがございましたら弊社までよろしく申し上げます。



詳細はこちらの  
QRコードから

資料請求は下記までご連絡ください

生命保険・損害保険代理店

## 日本保険マネジメント株式会社

〒101-0061

東京都千代田区神田三崎町2-20-7 水道橋西口会館309

TEL. 0120-463-176 平日 10時-17時

FAX. 0120-463-175

Mail [info@jimhoken.com](mailto:info@jimhoken.com)

承認番号: SJ22-14398

承認日: 2023/01/23

KONAMI

摂食・嚥下訓練器具のみこむトレーニング

# ラビリントレーナー®

「いつまでもおいしく口から食べる幸せ」

食事中にむせる、食物を飲み込みにくい、食べこぼす、ということはありませんか？そのような方は嚥下（えんげ）機能が衰えはじめています。いつまでもおいしく食事できるようにラビリントレーナーで口腔トレーニングを行いましょ。



## ラビリントレーナー

摂食・嚥下訓練器具

規格：材質：シリコンゴム／重量：約36g  
耐熱温度：200℃（オートクレーブ滅菌可）  
サイズ：長さ149mm×幅54mm×厚さ32mm  
カラー：口腔色

つるし穴  
フックなどにつるして保管する時にご使用ください。

グリップ部  
指でにぎります。

ホルダー部  
親指を差し込んで、支えるために使います。

リンガル部  
（舌のトレーニングに使用します）舌を鍛えるための部分。舌の上へ、ふせるようにして使います。

ラビアル部  
（唇のトレーニングに使用します）唇を鍛えるための部分。歯と唇の間にはさまるようにして使います。



置いたときでも口に入れる部分が接しないので衛生的

ご家庭で使いやすいスタンド付！



## ドルフィン義歯ブラシ(スタンド付)

義歯用ブラシ

規格：柄…ポリプロピレン製  
毛…ナイロン  
硬さ…かため  
耐熱温度…80℃  
スタンド…3色（イエロー、レッド、ブルー）  
材質…シリコンゴム  
包装：6本入（ASS・単色）

医院内でのご使用に最適！！



大きい植毛部分は義歯床や人工歯全体を磨くのに適しています。小さい植毛部分は毛が固くクラス部分や義歯の細かい溝などを磨くのに適しています。

## ドルフィン義歯ブラシ

義歯用ブラシ

規格：柄…ポリプロピレン製  
毛…ナイロン  
硬さ…かため  
耐熱温度…80℃  
包装：6本入

コンパクトヘッドタイプ  
プラーク除去に優れたテーパー加工。

## ドルフィン歯ブラシ



オリジナル歯ブラシとして名入れする事が可能です。

規格：ソフト（S）  
ミディアム（M）  
カラー：ソフト（S）  
バステルブルー  
バステルイエロー  
バステルグリーン  
バステルピンク  
ミディアム（M）  
ブルー・イエロー  
グリーン・ピンク

包装：100本入（ASS）  
25本入（単色）

極細毛とラウンド毛の二段植毛で、歯肉の奥まで優しくケアできます。

## ドルフィン歯ブラシ DUO



カラー：ブルー イエロー グリーン ピンク  
包装：12本入 ASS・単色

総合歯科医療商社

株式会社 **コサカ**

〒176-0013 東京都練馬区豊玉中2-18-14

TEL:03-3557-4111 FAX:03-3557-4116

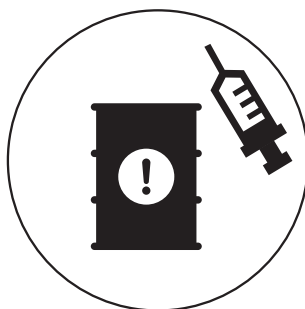
<https://www.kosaka.co.jp> E-mail:dental@kosaka.co.jp

# FJ GROWING SERVICE

歯科金属を始めとする、  
医療系廃棄物の適正処理事業  
及び収集運搬事業とサービス専門業者



歯科貴金属の  
回収・買取事業



医療廃棄物の  
処理事業



歯科医院・院内清掃  
DEMIGAKI



## 0120-256-888

営業時間 / 午前9時～午後5時（土日祝除く）

本社・工場 埼玉県坂戸市千代田5丁目1番6号

営業所 FJ札幌 / FJ千葉 / FJ埼玉 / FJ神奈川 / FJ新潟 / FJ沖縄

WEBからのお申し込みは  
24時間受け付けております。



FJグローイングサービス

検索

[www.fj-growing-service.com](http://www.fj-growing-service.com)

私たちは新たな付加価値を創造し、  
モノにもう一度「命」を吹き込む会社です。

Make things regenerate.

We create and add extra values, in order to breathe “life” into matters once again.

- **Recycle** 貴金属分析・精錬
- **Clean** 産業廃棄物適正処理
- **Support** 歯科研修会場 DHA

 **相田化学工業株式会社**

歯科営業部

〒183-0026 東京都府中市南町 6-31-2

TEL : 042-366-1201 FAX : 042-366-3101

札幌・仙台・新潟・郡山・埼玉・千葉・神奈川・東京

甲府・長野・静岡・名古屋・大阪・広島・香川・福岡・鹿児島



CHIYODA

所得税の確定申告及び節税対策  
医療法人の設立・決算・申告及び節税対策  
相続税・贈与税の申告及び節税対策  
その他会計・税について  
何んでもご相談ください

**税理士法人千代田タックスパートナーズ**

〒101-0047 千代田区内神田1丁目14番5号 NK内神田ビル3階

TEL 03-3233-1988 FAX 03-3233-3880




旬を美味しく食べて  
活魚・寿司・やきとり・天ぷら・ご会合各種弁当



40名様までのご宴会を承ります。  
貸切、営業時間外・日曜日のご宴会などお気軽にお問合せ下さい。


〒176-0012 東京都練馬区豊玉北 5-21-3  
TEL 03-3994-0203, FAX 03-3994-8761



レストラン エヌ.ルトゥール

<http://hwsa7.gyao.ne.jp/n-retour2003>

レストラン エヌ.ルトゥール  
TEL.03-5999-2003



AM 11:30 ~ PM 2:00  
(1:00 ラストオーダー)  
PM 5:30 ~ PM 9:00  
(7:30 ラストオーダー)  
■月曜・第2火曜定休  
祝日の際は連休明けが休み

◆西武池袋線「桜台」駅より徒歩5分・「練馬」駅より徒歩7分  
◆駐車場は、お近くのコインパーキングをご利用ください  
〒176-0012 東京都練馬区豊玉北 4-4-9

・忘年会、新年会、歓送迎会等のパーティー  
お気軽にご相談下さい。HP 上でもご案内しております。

ご存知ですか？

アサヒプリテック(株)だからできること

AHS(アサヒメタルアカウントシステム)という  
金・白金・パラジウム・銀を、  
それぞれ今より高く売却する方法があること  
アサヒプリテック(株)の分析能力が、  
世界的に評価されているということ

小さな資源を、  
あらたな資産へ



ASAHIPRETEC

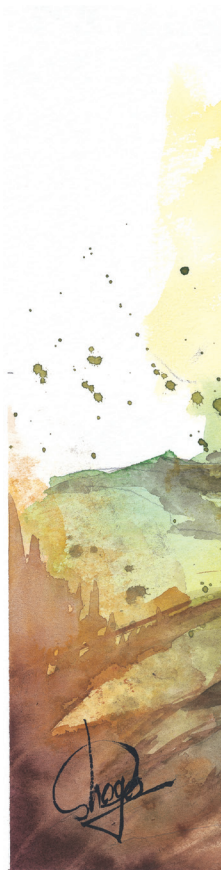
アサヒプリテック株式会社  
貴金属事業部 / 〒100-0005  
東京都千代田区丸の内1-7-12 サビアタワー  
TEL (03) 6270-1831 FAX (03) 6270-1825  
URL: <http://www.asahipretec.com>  
■営業所 / 札幌・青森・仙台・新潟・北関東・関東・横浜・神戸・静岡  
名古屋・北陸・大阪・神戸・岡山・広島・福岡・鹿児島・沖縄



The Journal of



the Nerima Dental Association



すずしろ No.78

令和5年3月25日発行

発行所 練馬区歯科医師会

東京都練馬区豊玉北6-5-13